

平成 1 7 年度

西宮市補助金事業評価委員会報告書

平成 1 7 年 1 1 月

西宮市補助金事業評価委員会

## 目 次

はじめに	1
1 補助金事業評価の二次評価について	
（1）補助金事業評価委員会の位置付け	3
（2）評価対象の補助金	3
（3）評価の方法	5
（4）評価にあたっての基本姿勢	5
2 補助金事業評価の判断基準	
（1）交付対象の妥当性の判断	6
（2）運営状況の評価	7
3 見直しの方針について	8
4 補助金事業評価の結果	
（1）全体概要	10
（2）個別の補助金事業評価結果	11
5 今後の補助金制度のあり方	57
（1）情報公開の推進	
（2）長期化している補助金への対応	
（3）補助手法の見直し	
（4）公募制の導入	
（5）少額補助金の原則廃止	
（6）補助団体の自立促進及び受益者負担の適正化	
おわりに	58
（資料1）西宮市補助金事業評価委員会設置要綱	
（資料2）補助金事業評価委員会委員名簿	
（資料3）補助金事業評価委員会の活動報告	
（資料4）補助金事業評価の対象補助金一覧表	

## はじめに

補助金とは、一般的に、特定の事業に対して公共の見地から公益性があると認められた場合に、その事業の実施に資するため反対給付を求めることなく交付される金銭的給付のことである。市は、そうした公益性のある社会的・文化的・経済的な活動を促進または支援するために、従前から補助金という手段を広く活用してきた。市は、このような補助金給付を行う手法を、市の政策目標を実現するに際して、社会に対して適切に公的資源を再配分するために、また公平性の見地から費用負担の一部を担うために、重要な政策手段であると位置づけてきた。

しかし、補助金は要望・陳情を契機に給付されることも多く、交付先から歓迎される施策ではある一方、市はその事業の実施に対して直接の責任を負うことはない。その結果、この手法が安易に利用されがちであるという問題も常に内在してきた。さらに、一旦、交付されると、事業本来の必要性や効果が十分に検証されずに、漫然と継続されやすいという問題もある。とりわけ市が支出する補助金は、通常、市民が納付した市税が財源となる。補助金の必要性について市民の理解を十分に得ることができるよう、常に検証することが求められる。

民間団体等によって実施される補助金事業の多くは、市の代替的な事業もしくは補完的な事業であり、市が財政支援することは当然であるとの考え方もある。しかしそうであっても、補助金が民間団体等の自主性や自律性を損なうことは問題であり、そうならないように補助の対象範囲や程度を常に見直すことが重要である。あるいは、補助金事業を実施する団体に、自立を目指すことの可能性を常に求めることも必要であり、本来、民間の力で行われるべき部分については、市が関与しすぎることはないよう留意すべきである。

今回、本市の個別の補助金のあり方について、市民の視点から議論し評価を行うことを目的に、その任に当たるよう市から要請を受け当委員会が設置された。この任を務めることにはさまざまな困難を伴うことを自覚しつつも、われわれ委員会メンバーは、行政の透明化や説明責任が求められ、また「西宮市第3次行財政改善実施計画」の中で事務事業のすべてを見直している状況において、時宜にかなったことであると考え、これを引き受けることとした。

当委員会は、現在、本市で実施されている補助金事業について、担当課・グループの協力を得ながら検討・評価を行い、個別の補助金事業の最終的なあり方について提言することを期待されている。検討の結果、一定の結論を得るに至り、ここにその結果をとりまとめ、市長へ提言するものである。市長におかれては、この報告書の趣旨を十分に汲み取られ、今後の予算編成に臨まれるよう要望する。

平成17年11月

西宮市補助金事業評価委員会

委員長 長峯 純一

副委員長 宮内 俊江

委員 大門 吉俊

委員 奥井 克美

委員 窪田 好男

委員 長谷川 裕子

## 1 補助金事業評価の二次評価について

### (1) 補助金事業評価委員会の位置付け

補助金事業評価委員会が設置された経緯はすでに述べたが、「西宮市補助金事業評価委員会設置要綱」によれば、当委員会の役割は、補助金事業評価において第三者の視点から二次評価を行うこととされている。

今回の補助金事業評価は、「補助金事業の点検実施要領」に基づいて、まず各補助金事業を担当している課・グループが一次評価を行い、次いで、担当部局以外の機関が二次評価を行うこと、とされている。したがって、行政以外の外部の構成員による第三者機関として当委員会が設置され、第三者の視点から二次評価（第三者評価）を行うこととなった。

一般に「第三者評価」とは、第三者の立場の人が第三者の視点で行う評価であり、納税者（負担者）、補助金事業からの受益者、その他の利害関係者といった立場からは一定の距離を置いて、客観的な評価基準に基づいて評価を行うことを意味する。

### (2) 評価対象の補助金

今回の補助金事業評価の対象とする補助金の合計額は、27億5,433万1千円であり、件数で180件にのぼっている。この補助金には、民間団体等へのものだけでなく外郭団体へのもの（市派遣職員人件費補助を除く）も含まれている。

#### 【局別の補助金の状況】

局名	件数		予算額（千円）	
		構成比		構成比
総合企画局	7	3.9%	135,971	4.9%
総務局	3	1.7%	92,628	3.4%
市民局	44	24.4%	241,652	8.8%
健康福祉局	59	32.8%	1,743,203	63.3%
環境局	11	6.1%	24,049	0.9%
都市局	4	2.2%	25,330	0.9%
土木局	3	1.7%	53,084	1.9%
消防局	2	1.1%	12,742	0.5%
教育委員会	46	25.5%	344,672	12.5%
議会事務局	1	0.6%	81,000	2.9%
合計	180	100.0%	2,754,331	100.0%

予算額は、平成17年度当初予算額。

ただし、平成17年度からの新規補助金については、事業実績がないことから、今回の評価対象外とし、また、のじぎく兵庫国体実行委員会運営補助金(平成18年度終了)についても予算編成時の検討に委ねることとし、当委員会は、従前から毎年度継続して行われている事業費や運営費に対する補助金を評価の対象とした。

補助金の件数で見ると、市民局・健康福祉局・教育委員会の3局の占める比率がそれぞれ高く、この3局の合計で全体の82.7%をも占めている。金額で見ると、健康福祉局の比率が63.3%と突出して高く、次いで、やはり教育委員会と市民局が続く。

【経過年数別補助金の状況】

局名	件数		予算額(千円)	
		構成比		構成比
5年未満	14	7.8%	259,736	9.4%
5年以上 10年未満	10	5.5%	125,656	4.6%
10年以上 20年未満	39	21.7%	716,536	26.0%
20年以上 30年未満	27	15.0%	756,870	27.5%
30年以上	51	28.3%	664,776	24.1%
不明	39	21.7%	230,757	8.4%
合計	180	100.0%	2,754,331	100.0%

予算額は、平成17年度当初予算額。

【金額別補助金の状況】

局名	件数		予算額(千円)	
		構成比		構成比
10万円未満	17	9.5%	979	0.0%
10万円以上 50万円未満	37	20.5%	9,203	0.3%
50万円以上 100万円未満	23	12.8%	17,135	0.6%
100万円以上 500万円未満	49	27.2%	125,506	4.6%
500万円以上 1000万円未満	17	9.5%	117,734	4.3%
1000万円以上	37	20.5%	2,483,774	90.2%
合計	180	100.0%	2,754,331	100.0%

予算額は、平成17年度当初予算額。

補助金の経過年数を見ると、30年以上に及ぶものが3割弱あると共に、不明のものも2割強あり、長期間に及ぶ補助金が多いことが分かる。また補助金一件当たりの額で見ると、100万円以上500万円未満の件数が3割弱と最も多いものの、1,000万円以上の補助金、50万円未満の補助金もそれぞれ2割強あり、全体に分散している

と言える。

以上のような状況を踏まえながら、個別の補助金事業についての評価を行っていくことにした。

### (3) 評価の方法

評価を行うには、評価の拠りどころとなる基準が必要である。当委員会では、「補助金見直しに関する判断基準」に基づいて評価に臨むこととした。

具体的な評価の手順は次のとおりである。まず、各補助金事業を担当している課・グループが、「補助金見直しに関する判断基準」と「補助金事業の点検実施要領」に基づいて、補助金事業点検シートを作成し一次評価を行う。その後、当委員会が、一次評価の結果および補助団体の予算・決算・事業概要等の各種資料の情報提供を受け、さらに適宜、担当課・グループへのヒアリングや文書での意見交換で補足しながら、二次評価を行う。

先述したように、当委員会の二次評価の対象となる補助金件数は180件であった。この評価を効率的に進めるため、6名からなる委員を2名ずつの3つの小委員会に分け、それぞれが約60件ずつを分担して二次評価の原案を作成した(当委員会の設置要綱を参照されたい)。原案作成作業に入るに当たっては、まず委員会全体で評価基準などについて共通理解を得るための議論を行った。その上で、各小委員会のもとで作成された二次評価原案を、委員会全体で議論し二次評価の最終案を決定した。

今回、担当課・グループによる一次評価点検シートを参考に、追加的な情報をヒアリング等で補い、二次評価を行ってきたが、最も困難だった点は、補助金件数の多さに対して時間的な制約が厳しかった点である。今後への反省点として記録しておくべきである。

### (4) 評価にあたっての基本姿勢

当委員会は、本市が第3次行財政改善実施計画を推進していく中で、補助金の見直しを目的に設置されたものである。具体的には、補助金支出の節減を意図して設置されたと理解することができる。したがって、当委員会では、行財政改善に寄与することを一つの判断基準に置くことを心掛けた。

しかし、当然のことではあるが、当委員会は政策決定機関ではなく、補助金に関する市の政策決定は、最終的には市長をはじめとする市政運営者の判断と市議会での予算審議に委ねられる。当委員会は、第三者の立場から、市の説明責任が果たされているかどうかを含め、補助金の必要性や有効性などについて評価した。

なお、当委員会は、補助金の交付を受けている補助団体の事業のあり方などを直接評価する立場にはないため、補助団体への直接のヒアリングなどは行っていない。あくまで、補助金事業を担当する課・グループの考え方や提供された情報に基づいて評価を行った。

以上のような手続きと考え方に従って、当委員会は現行の補助金事業について課題・検討を要する事項を指摘し、市に対してあり方を提言していく。

## 2 補助金事業評価の判断基準

補助金の必要性や対象となる団体の活動や事業の公益性は、客観的な評価基準のもとで判断されるべきである。また、事業目的、事業内容、補助金の使途、そして事業の有効性などについて、十分な説明責任を果たすことも必要である。さらに、補助金の交付先についても、市民の間で公平性が保たれることが求められる。

当委員会は、そのような認識のもとで、以下の2つの判断基準(14の視点)を評価の視点として、補助金の評価を行った。

### (1) 交付対象の妥当性の判断(補助金の必要性、対象としての妥当性・適格性)

#### ア 公益性

市の施策目的達成への貢献度(以下に該当するか)

- ・特定の団体や個人によって実施される事業・活動が、市の施策目的を達成することに貢献しているか。
  - 住民自治、住民参加の推進に寄与し、かつ特定の団体や個人の利益になっていないもの。
  - 地域経済、産業振興、雇用促進の分野で、市が積極的に普及・支援することが正当化されるもの。
  - 社会福祉、環境、教育、文化・芸術・スポーツ等の推進に貢献するもの。
  - 上記のような施策分野において、行政では発揮しにくい先進的、独創的なアイデア・発想・行動原理をもって、公共の価値を新たに生み出すことが期待されるもの、等

社会経済的ニーズへの適時性

- ・社会経済情勢や市民ニーズの変化に対して、対象となる団体の活動や事業について、その重要度や緊急性が高まっているか。
- ・社会経済情勢や市民ニーズの変化に照らして、対象となる団体の活動や事業の役割がすでに終焉していないか。

法的根拠

- ・補助対象とすることの根拠法令や条例があるか。

#### イ 適格性

目的の妥当性

- ・対象となる団体の活動や事業と、その団体の運営目的や事業目的が整合しているか。

行政関与の必要性



- ・市と対象となる団体や個人との間で明確な役割分担がなされているか、民間においてどの程度事業化することが可能か。

終期の設定の有無

- ・補助金交付の終期が設定されているか、長期化・固定化・既得権化していないか。

自立性

- ・すでに自助、自立している状況あるいはその可能性はないか。

## (2) 運営状況の評価(交付先で補助金を活用した適切な事業運営が行われているか)

### ア 事業(団体)運営面での適確性

事務処理、会計処理、補助金充当費目等の適確性

- ・補助対象となる充当費目や用途が妥当であるか(視察等の研修費、飲食費、他団体への迂回助成、その他社会一般の通念上、公金で賄うことが相応しくない経費がないか)。
- ・補助金額に対して過大な繰越金を計上していないか(繰越金が補助金額を上回っていないか)。
- ・決算および事業内容がわかる付属資料は整備されているか。

自主財源の確保の状況

- ・団体の構成員から会費を徴収するなど、自主財源の確保に努めているか、またその実態はどうなっているか。

### イ 事業(団体運営)の効率性

実施方法(手法)の効率性

- ・関連性のある事業、目的が類似した事業と統合・融合する余地はないか。
- ・団体が実施している活動や事業の中で、目的が類似したものを統合・融合する余地はないか。
- ・事業の進め方において改善や工夫をする余地はないか、またそのような検討が行われているか。

補助金額の効率性

- ・事業の補助率は2分の1以下となっているか(運営補助費が団体の運営費全体の2分の1以下となっているか)。
- ・補助金単価や補助金額が、他市等の水準と比べて著しく高くないか。

### ウ 事業の有効性

目標(目的)設定の妥当性

- ・事業効果を点検するための目標となる項目や指標(数値)が、具体的に設定さ

れているか。

- ・団体が実施する事業等の効果を点検するための目標となる項目や指標（数値）が、具体的に設定されているか。
- ・目標自体が実現可能なものか、社会的便益につながるものか、市民に理解・納得が得られるものか。

事業効果の発揮度

- ・補助金交付を開始した当初に想定していた効果が発揮されているか、目標に対する達成状況はどうか。

間接的に補助を行った事業の有効性（該当する事業のみ）

- ・補助団体を通じて下部組織等に再補助が行われている場合、そこでの事業効果が検証されているか。

### 3 見直しの方針について

二次評価では、「見直しの方針」と「総合コメント」の2項目について検討し、記述することとした。「見直しの方針」については、「11 現状どおり継続」「12 補助額の見直しが必要」「13 補助内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要」「21 他の補助金事業との整理・統合」「22 特定事業の補助への変更」「31 廃止」「41 完了(終了)」の7つの選択肢によって、方針を示すこととした。ただし、これら選択肢の定義・意味が必ずしも明確でない、との問題点が各委員から指摘され、委員会として各選択肢を以下のように整理・解釈し、各委員が共通理解を持って二次評価に臨んだ。

「11 現状どおり継続」について

補助目的から見て成果が上がっており、他にも特に問題がないため、現状どおり補助を継続することが妥当であると判断したもの。

「12 補助額の見直しが必要」について

補助の必要性は認めるが、団体の自助努力などにより、市の補助率（額）を引き下げていく必要があるもの。

「13 補助内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要」について

補助目的の必要性は認めるが、事業内容や補助金の配分の仕方などの見直しを行うことで、補助率（額）を引き下げていく必要があるもの（その結果、補助額の削減幅も12のケースよりも大きくなることが期待される）。

なお、一次評価では、「補助額の大幅な見直しが必要」という位置付けで評価を行っているため、二次評価と単純比較はできない。

「21 他の補助金事業との整理・統合」について

補助目的が類似する他の補助金事業と整理・統合を図っても、事業の成果が期待できるもので、なおかつ補助額全体の削減が期待されるもの。

#### 「 2 2 特定事業の補助への変更」について

団体運営に対する補助から事業そのものに対する補助へと変更を図ることで、補助の目的を明確にするもので、なおかつ補助金額の削減が期待されるもの。

#### 「 3 1 廃止」について

補助目的そのものの意義がかなり低下しているもの、補助目的から見て成果がほとんど上がっていないもの、あるいは成果は上がっているとの主張に対し、明確かつ客観的に検証できないものについて、補助金の廃止が妥当と判断されたもの。

ただし、この「廃止」には、平成 18 年度に直ちに廃止すべきものに限定せず、将来に向かって廃止が妥当であると判断したものも含める。

#### 「 4 1 完了(終了)」について

補助の目的や計画期間が明確であり、目的を達成したことに伴い、補助を終了するもので、政策的な判断の入る余地がほとんどないもの。

なお、「見直しの方針」は、将来を視野に含め、今後どうあるべきか、という判断のもとで行った。また、「見直しの方針」を即座に実行することに困難があり、短期的な対応への配慮も考えられる場合には、総合コメントの中に記述することとした。

以上のような解釈に沿って二次評価を試みたが、限られた時間と情報のもとでは判断の難しい補助金も実際にはあった。しかし、敢えて市に問題を投げかけて議論してもらうという意図を込めて、「見直しの方針」を記述したものがあっても付け加えておく。

## 4 補助金事業評価の結果

### (1) 全体概要

一次評価点検シートやヒアリング等を通して、個別の補助金事業について評価を進める過程で、全体としての問題点が明らかとなってきた。そこで、各論に先立って、まず補助金全般に関する課題について評価項目に従って述べていく。

#### ア 交付対象の妥当性の判断

補助金事業の公益性や補助の必要性は、当該事業によって実現が期待される政策目的によって説明されるが、当初の補助目的から乖離しているにもかかわらず、補助が長期化、固定化しているものが散見される。

また、時代の変遷により補助する理由付けの合理性が欠けてきたり、補助の目的と補助の対象範囲が適合しなくなっているとすれば、市民（納税者）に対して説明責任を果たすことはできない。補助を開始したときの目的を再確認すると共に、改めて現時点での考え方を整理していく必要がある。

#### イ 運営状況の評価

補助金を投入した効果の検証が、必ずしも客観性のある基準に基づいて行われていないケースも多々見られる。効果測定の指標や手法の開発が困難な面もあるが、そうした点を工夫しつつ、補助金の効果について客観的に検証するシステムを模索する必要がある。

補助対象・金額についても、多くの問題が見られる。第1に、収支決算書等から見ると補助の対象範囲を明確にしていないケースが多く見られる。団体によっては、補助金の他に会費や参加負担金などの独自収入により補助の趣旨や目的とは異なる経費に支出しているケースが見受けられる。これらの経費に補助金を使用されているという誤解を招かないように補助対象となる経費を明確にする必要がある。

第2に、小額補助金の件数が相対的に多いことも気になる点である。一件当たりの金額が些少であり、事業効果が上がっているとは思えない。また一件当たりでは財政負担も小さく見えても、そのような小額補助金が多数存在することで、全体として大きな財政負担を作り出し、いわゆるばらまき型の様相を生み出している。さらにそのための事務に要する行政コストも少なくない。

第3に、小額補助金の中には、団体が市からの補助を受けることで、市公認の事業もしくは団体という意味合いを世間的に受けられること、また広く対外的な信用を得られるという側面も推察できるが、補助金による団体の財政上のメリットは、それほどないと考えられる。

(2) 個別の補助金事業の評価結果

二次評価の結果を一次評価と比較する形で整理したものが下表である。

180件ある補助金のうち、「廃止」が66件で最も多く、次いで「補助内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要」39件、「補助額の見直しが必要」24件、「他の補助金事業との整理・統合」23件と続いている。

一次評価に比べると、二次評価においては、「現状どおり継続」の割合が大幅に減少し、その分だけ「廃止」、「補助内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要」、「他の補助金事業との整理・統合」が増え、その意味では厳しい内容になっている。

なお、個々の補助金事業に関する「見直しの方針」および「総合コメント」は、次頁以降に示している。

【見直しの方針別評価結果】

分類 コード	見直しの方針	一次評価		二次評価	
		(担当課・グループ)		(補助金事業評価委員会)	
		件数	割合	件数	割合
11	現状どおり継続	128	71.1%	22	12.2%
12	補助額の見直しが必要	49	27.2%	24	13.3%
13	補助内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要(注1)	1	0.6%	39	21.7%
21	他の補助金事業との整理・統合	0	0.0%	23	12.8%
22	特定事業の補助への変更	0	0.0%	2	1.1%
31	廃止	0	0.0%	66	36.7%
41	完了(終了)	2	1.1%	4	2.2%
合 計		180	100.0%	180	100.0%

(注1) 「13 補助内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要」については、一次評価では、「補助額の大幅な見直しが必要」という位置付けで評価を行っているため、二次評価と単純比較はできない。

		1
補助金名	私立学校園教育振興補助金	
担当課・グループ名	総合企画局 企画総括室 企画総務グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	88,000	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	この補助金は、私立学校園の施設や設備の改善などに使用されている。ただし、比較的経営の健全性が確保されている学校法人などが設置している学校園も、経営基盤が脆弱な個人設立の幼稚園なども同じ基準で補助しており、補助金の妥当性、有効性に疑問がある。他市の状況にもあるように幼稚園のみを対象にするなど、根本的な見直しが必要ではないか。なお、幼稚園のみを対象とする場合でも、現在の市の財政状況を鑑み、補助額の見直しを行うべきである。また、この補助金は市長事務部局で所管しているが、私立学校園建設等補助金などは教育委員会で所管しており、より現場に近い教育委員会に窓口を一本化する方が、効果的な助成という観点からも、交付を受ける学校園の立場からも望ましいのではないかと。	

		2
補助金名	西宮市大学交流協議会運営費補助金	
担当課・グループ名	総合企画局 文化まちづくり部 文化・大学交流課	
平成17年度当初予算額(千円)	5,000	
見直しの方針	11	現状どおり継続
二次評価の総合コメント	大学間の交流や市民と大学の交流、また専門知識の習得は有意義であり、この補助金の交付の必要性、事業の有効性が認められる。また、各加盟大学も応分の資金を負担しており、引き続き市も補助を継続することが望ましい。	

		3
補助金名	文化振興財団補助金	
担当課・グループ名	総合企画局 文化まちづくり部 文化・大学交流課	
平成17年度当初予算額(千円)	13,654	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	この補助金による事業が事業目的に対して有効であるかどうか、必ずしも明確ではない。市民ニーズに照らして活動内容を見直し、採算性を重視した運営を行うべきである。補助そのものは継続するとしても、事業内容については見直しが必要である。	

		4
補助金名	西宮市議会議員互助会補助金	
担当課・グループ名	総合企画局 市長室 秘書・国際課	
平成17年度当初予算額(千円)	2,700	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	市議会議員互助会の活動そのものは理解できるが、市議会議員で組織する互助会に対して市が補助することについては、現在の社会通念から見て市民の理解を得られるものではない。自主財源のみで運営していくべきである。	

		5
補助金名	西宮市議会議員待遇者会補助金	
担当課・グループ名	総合企画局 市長室 秘書・国際課	
平成17年度当初予算額(千円)	855	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	市議会議員待遇者会の活動そのものは理解できるが、当団体に対して市が補助することについては、現在の社会通念から見て市民の理解を得られるものではない。自主財源のみで運営していくべきである。	

		6
補助金名	原水爆禁止西宮市協議会補助金	
担当課・グループ名	総合企画局 市長室 秘書・国際課	
平成17年度当初予算額(千円)	308	
見直しの方針	12	補助額の見直しが必要
二次評価の総合コメント	昭和58年に兵庫県内でいち早く「平和非核都市宣言」を行った背景および当協議会の目的は理解できるし、非核や平和に対する意識は当然薄れさせてはならない。しかしながら、現在の市の財政状況を鑑み、補助額の見直しを行うべきである。	

		7
補助金名	西宮市国際交流協会補助金	
担当課・グループ名	総合企画局 市長室 秘書・国際課	
平成17年度当初予算額(千円)	25,454	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	本来、当協会には、姉妹友好都市や地域における国際交流活動が活発に行われ、多くの市民が参加できるよう積極的に活動することが望まれる。しかし、基本財産運用による収入が見込まれない現在の状況を鑑みると、固定費を削減するなどの見直しを行うべきである。	

		8
補助金名	西宮市職員自治振興会補助金	
担当課・グループ名	総務局 人事部 職員厚生課	
平成17年度当初予算額(千円)	86,650	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	この補助金については、すでに6月の時点で削減の見直し方針が出され、補助金の大幅な減額を行い、団体の事務費と職員会館等の維持管理費のみに充当されることとなった。この見直しを行ったことにより、市民から一定の理解は得られると思われる。しかし、今後も、職員の福利厚生関係団体への補助金は、民間等の社会的動向も考慮しながら見直しを図っていくべきである。	

		9
補助金名	西宮市嘱託職員互助会補助金	
担当課・グループ名	総務局 人事部 職員厚生課	
平成17年度当初予算額(千円)	5,928	
見直しの方針	12	補助額の見直しが必要
二次評価の総合コメント	この補助金は、嘱託職員の互助会に対するものである。すでに福利厚生について見直しの方針が出され、当互助会においても、見直しを行っているとのことである(9月現在)。職員の福利厚生に対する補助金は、民間等の社会的動向も考慮しながら、市民から一定の理解が得られるよう見直ししていくべきである。	

		10
補助金名	西宮納税貯蓄組合連合会補助金	
担当課・グループ名	総務局 税務部 税務管理グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	50	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	税の広報活動は、国、都道府県、市町村においてそれぞれ実施されており、西宮納税貯蓄組合連合会に補助金を支出してまで行う必要性は薄れてきている。連合会に対する補助金は、事業の効果が見えにくく、有効性の観点からも、廃止をすべきである。	

		11
補助金名	にしのみや市民祭り補助金	
担当課・グループ名	市民局 市民総括室 市民活動支援課	
平成17年度当初予算額(千円)	14,950	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	市民祭りは長年継続され、地域ごとにも開催されており、補助金の必要性は認められる。しかし、今後は、「(仮称)市民イベント補助金」のようなものを創設し、広く市民・事業者等が主催するイベント等に対して、創意工夫を凝らした企画を審査することにより、補助金交付の可否や金額を決定する方式への移行を検討していくべきである。	

		12
補助金名	防犯協会運営費補助金ほか	
担当課・グループ名	市民局 市民総括室 市民活動支援課	
平成17年度当初予算額(千円)	86,760	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	この補助金の大部分は、防犯灯に対するものである。防犯灯・街路灯・道路灯の扱いを一元化することを検討するとともに、防犯灯の数を基準に補助金額を決めていく現行方式については、抜本的に見直す必要がある。安全上必要な施設は行政が全額負担し、それ以上に要望する防犯協会支部(自治会)には、原則自己負担をしてもらう形に改めるべきである。また、地域の防犯活動等に対する協力は重要であるが、現在の市の財政状況を鑑み、補助額の見直しを行うべきである。	



		13
補助金名	西宮市保護司会補助金	
担当課・グループ名	市民局 市民総括室 市民活動支援課	
平成17年度当初予算額(千円)	1,620	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	<p>犯罪や非行の無い安全で明るい街づくりを目指す活動に市が補助金を支出することは必要であるが、現在の保護司会に直接補助するという方法の他に、保護司個人に補助した上で、必要に応じて保護司会に経費等を支払う形式にするという方法もある。今後、より有効な活動が行われるように補助金の支出方法を検討していくべきである。</p>	

		14
補助金名	西宮市地域自主管理集会施設整備補助金	
担当課・グループ名	市民局 市民総括室 市民活動支援課	
平成17年度当初予算額(千円)	30,000	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	<p>各地域の自主管理集会施設は、基本的に当該地域の負担によって建設・補修されることが望ましい。現在の市の財政状況を鑑み、補助額の見直しを行うべきである。</p>	

		15
補助金名	石けん使用推進補助金	
担当課・グループ名	市民局 市民総括室 消費生活センター	
平成17年度当初予算額(千円)	243	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	<p>25年間に及ぶ石けん使用推進運動を大切にしたいという考えは共感できるし、この活動が果たしてきた意義は認められる。しかし、本市の下水道もほぼ市全域に普及し、また多くの市民の環境に対する意識も高まる中で、この補助金については役割を終えたと考える。</p>	

		16
補助金名	西宮市消費者団体連絡会補助金	
担当課・グループ名	市民局 市民総括室 消費生活センター	
平成17年度当初予算額(千円)	981	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	<p>活動内容は、講演会や学習会などの啓発活動が多いが、必ずしも補助金の目的と成果が明確とはなっていない。したがって、事業内容や補助金額の見直しが必要であると考える。</p>	

		17
補助金名	兵庫県建設国民健康保険組合補助金	
担当課・グループ名	市民局 市民部 国民健康保険グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	567	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	当団体の運営活動がこの補助金に大きく依存しているとは考えにくく、自立した運営が可能であると考えられるため、補助金は廃止すべきである。	

		18
補助金名	西宮市福祉医療費助成制度実施協力補助金	
担当課・グループ名	市民局 市民部 医療助成グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	10,300	
見直しの方針	12	補助額の見直しが必要
二次評価の総合コメント	福祉医療費助成制度の円滑な運営には、各医療機関との連携と協力を得ることが、必要不可欠である。したがって、制度の周知等を図るために補助金を支出する必要性は認められるが、現在の市の財政状況を鑑み、補助額の見直しを行うべきである。	

		19
補助金名	西宮商工会議所補助金	
担当課・グループ名	市民局 経済部 商工グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	3,402	
見直しの方針	12	補助額の見直しが必要
二次評価の総合コメント	商工会議所は、地域すべての商工業者のために設けられた地域の経済団体であり、地域産業の振興を図り、地域社会の福祉に貢献することを目的として広範な事業活動を行っている。その中で、個店振興のための施策を多数実施するなど、補助金に一定の必要性は認められる。ただし、現在の市の財政状況を鑑み、補助額の見直しを行うべきである。	

		20
補助金名	西宮市商店市場連盟補助金	
担当課・グループ名	市民局 経済部 商工グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	972	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	多くの消費者が大型小売店に流れる中で、これからの商店街・小売市場には、地域密着型の利便性の高いサービス提供が期待されている。市は、従来の補助金配分の方法を見直し、自ら活性化への転換を目指している商店街や小売市場に対して重点的に補助を行えるよう、企画審査型の配分方式に変えていくべきである。また、商業関係で分散している補助金をまとめ、効率的な支出を行うべきである。	

		21
補助金名	地場産業振興補助金	
担当課・グループ名	市民局 経済部 商工グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	297	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	和紙、清酒いずれも西宮市を代表する伝統産業であり、補助金の必要性は理解できる。ただし、これまでの補助金事業は必ずしも産業振興に結びついていない面が見受けられる。今後は、産業振興につながる事が期待される取り組みとなるよう、事業内容を見直していくべきである。	

		22
補助金名	西宮市工業見本市等出品助成金	
担当課・グループ名	市民局 経済部 商工グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	405	
見直しの方針	12	補助額の見直しが必要
二次評価の総合コメント	見本市への出品によって販路の拡大が見込まれるはずであるが、実績を見る限りは補助金が販路拡大に有効に結びついているとは言いがたい。補助金自体の意義は認めるものの、現在の市の財政状況を鑑み、補助額の見直しを行うべきである。	

		23
補助金名	中小企業大学校受講補助金	
担当課・グループ名	市民局 経済部 商工グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	135	
見直しの方針	12	補助額の見直しが必要
二次評価の総合コメント	中小企業大学校の講義を受講しようとの意欲は、今後の経営の安定と発展を期待させるが、この補助金が何を成果としてもたらしてきたかは明確でない。補助金自体の意義は認められ、また教育効果の短期的な評価は困難であるとしても、現在の市の財政状況を鑑み、補助額の見直しを行うべきである。	

		24
補助金名	協同組合設立補助金	
担当課・グループ名	市民局 経済部 商工グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	90	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	数年来、補助金交付の実績が無いことは、中小企業自身が協同組合を結成することにメリットを感じていないか、あるいは必要性を感じていないことを示唆している。したがって、補助金の実質的な意義を喪失したため、廃止すべきであると考えられる。	

25	
補助金名	西宮市地方卸売市場連合会補助金
担当課・グループ名	市民局 経済部 商工グループ
平成17年度当初予算額(千円)	3,560
見直しの方針	31 廃止
二次評価の総合コメント	卸売市場が青果物等の安定供給の拠点であり、市が市場開設者として補助金を支出することは理解できる。ただし、補助金は交通安全対策(交通整理員の雇用)や環境整備事業(ごみ処理等)に使われており、そうした点からは次のような問題が指摘される。第1に、それらは事業者が行うべきもので、費用の一部補助であっても市民の理解は得にくいと考えられる。第2に、市内流通率を上げるという政策目標との関連も薄く、有効性は低い。第3に、事業者の自立を促すものではなく、市民負担が永続するとすれば、市民の理解を得にくい。したがって、この補助金は将来的に廃止すべきであると考えられる。

26	
補助金名	西宮市異業種交流事業促進助成補助金
担当課・グループ名	市民局 経済部 商工グループ
平成17年度当初予算額(千円)	684
見直しの方針	12 補助額の見直しが必要
二次評価の総合コメント	新たなアイデアの出現によるビジネスチャンスの創出を応援したいという、市の姿勢は理解できる。しかし、この制度の利用が少ない現状と補助金の効果必ずしも明確でないことから、現在の市の財政状況を鑑み、補助額の見直しを行うべきである。

27	
補助金名	西宮市地域商業団体活性化事業補助金(商業共同施設設置事業)
担当課・グループ名	市民局 経済部 商工グループ
平成17年度当初予算額(千円)	1,200
見直しの方針	21 他の補助金事業との整理・統合
二次評価の総合コメント	多くの消費者が大型小売店に流れる中で、これからの商店街・小売市場には、地域密着型の利便性の高いサービス提供が期待されている。市は、従来の補助金配分の方法を見直し、自ら活性化への転換を目指している商店街や小売市場に対して重点的に補助を行えるよう、企画審査型の配分方式に変えていくべきである。また、商業関係で分散している補助金をまとめ、効率的な支出を行うべきである。

28	
補助金名	西宮市地域商業団体活性化事業補助金(情報化推進事業)
担当課・グループ名	市民局 経済部 商工グループ
平成17年度当初予算額(千円)	537
見直しの方針	21 他の補助金事業との整理・統合
二次評価の総合コメント	多くの消費者が大型小売店に流れる中で、これからの商店街・小売市場には、地域密着型の利便性の高いサービス提供が期待されている。市は、従来の補助金配分の方法を見直し、自ら活性化への転換を目指している商店街や小売市場に対して重点的に補助を行えるよう、企画審査型の配分方式に変えていくべきである。また、商業関係で分散している補助金をまとめ、効率的な支出を行うべきである。

29	
補助金名	西宮市地域商業団体活性化事業補助金(商業共同施設維持管理事業)
担当課・グループ名	市民局 経済部 商工グループ
平成17年度当初予算額(千円)	2,760
見直しの方針	21 他補助金事業との整理・統合
二次評価の総合コメント	多くの消費者が大型小売店に流れる中で、これからの商店街・小売市場には、地域密着型の利便性の高いサービス提供が期待されている。市は、従来の補助金配分の方法を見直し、自ら活性化への転換を目指している商店街や小売市場に対して重点的に補助を行えるよう、企画審査型の配分方式に変えていくべきである。また、商業関係で分散している補助金をまとめて、効率的な支出を行うべきである。

30	
補助金名	西宮市商業活性化ソフト事業補助金(商店街・市場活性化対策事業)
担当課・グループ名	市民局 経済部 商工グループ
平成17年度当初予算額(千円)	3,600
見直しの方針	21 他補助金事業との整理・統合
二次評価の総合コメント	多くの消費者が大型小売店に流れる中で、これからの商店街・小売市場には、地域密着型の利便性の高いサービス提供が期待されている。市は、従来の補助金配分の方法を見直し、自ら活性化への転換を目指している商店街や小売市場に対して重点的に補助を行えるよう、企画審査型の配分方式に変えていくべきである。また、商業関係で分散している補助金をまとめて、効率的な支出を行うべきである。

31	
補助金名	西宮市地域商業団体活性化事業補助金(イベント事業)
担当課・グループ名	市民局 経済部 商工グループ
平成17年度当初予算額(千円)	5,000
見直しの方針	11 現状どおり継続
二次評価の総合コメント	今後、商業関係の補助金は、従来の補助金配分の方法を見直し、自ら活性化への転換を目指している商店街や小売市場に対して重点的に補助を行えるよう、企画審査型の配分方式に変えていくべきである。ただし、当該事業は、兵庫県と連携することで成り立っており、事業効果や兵庫県との関係を鑑みて、当面は現状どおり継続とするのが妥当である。

32	
補助金名	西宮市空き店舗活用活性化事業補助金
担当課・グループ名	市民局 経済部 商工グループ
平成17年度当初予算額(千円)	3,400
見直しの方針	11 現状どおり継続
二次評価の総合コメント	今後、商業関係の補助金は、従来の補助金配分の方法を見直し、自ら活性化への転換を目指している商店街や小売市場に対して重点的に補助を行えるよう、企画審査型の配分方式に変えていくべきである。ただし、当該事業は、兵庫県と連携することで成り立っており、事業効果や兵庫県との関係を鑑みて、当面は現状どおり継続とするのが妥当である。

33	
補助金名	西宮市商店街等アシストエンジェルモデル事業補助金
担当課・グループ名	市民局 経済部 商工グループ
平成17年度当初予算額(千円)	3,000
見直しの方針	21 他補助金事業との整理・統合
二次評価の総合コメント	多くの消費者が大型小売店に流れる中で、これからの商店街・小売市場には、地域密着型の利便性の高いサービス提供が期待されている。市は、従来の補助金配分の方法を見直し、自ら活性化への転換を目指している商店街や小売市場に対して重点的に補助を行えるよう、企画審査型の配分方式に変えていくべきである。また、商業関係で分散している補助金をまとめて、効率的な支出を行うべきである。

34	
補助金名	にしのみやチラシグランプリ事業補助金
担当課・グループ名	市民局 経済部 商工グループ
平成17年度当初予算額(千円)	800
見直しの方針	21 他補助金事業との整理・統合
二次評価の総合コメント	多くの消費者が大型小売店に流れる中で、これからの商店街・小売市場には、地域密着型の利便性の高いサービス提供が期待されている。市は、従来の補助金配分の方法を見直し、自ら活性化への転換を目指している商店街や小売市場に対して重点的に補助を行えるよう、企画審査型の配分方式に変えていくべきである。また、商業関係で分散している補助金をまとめて、効率的な支出を行うべきである。

35	
補助金名	西宮市オンリーワンモデル事業補助金
担当課・グループ名	市民局 経済部 商工グループ
平成17年度当初予算額(千円)	1,000
見直しの方針	21 他補助金事業との整理・統合
二次評価の総合コメント	多くの消費者が大型小売店に流れる中で、これからの商店街・小売市場には、地域密着型の利便性の高いサービス提供が期待されている。市は、従来の補助金配分の方法を見直し、自ら活性化への転換を目指している商店街や小売市場に対して重点的に補助を行えるよう、企画審査型の配分方式に変えていくべきである。また、商業関係で分散している補助金をまとめて、効率的な支出を行うべきである。

36	
補助金名	中小企業団地利子補給金
担当課・グループ名	市民局 経済部 商工グループ
平成17年度当初予算額(千円)	700
見直しの方針	41 完了(終了)
二次評価の総合コメント	住工混在を解消するために工場等の集団移転事業を行った協同組合等に対し、環境事業団(現・環境再生保全機構)からの融資に係る一部利子補給を行っているものであるが、平成19年度で終了予定となっているため、終期が来れば、完了とする。

37	
補助金名	酒蔵地帯復興イベント事業補助金
担当課・グループ名	市民局 経済部 産業振興グループ
平成17年度当初予算額(千円)	5,000
見直しの方針	21 他補助金事業との整理・統合
二次評価の総合コメント	この事業は地場産業の活性化を目的に継続開催されており、補助金の必要性は認められる。しかし、今後は、「(仮称)市民イベント補助金」のようなものを創設し、広く市民・事業者等が主催するイベント等に対して、創意工夫を凝らした企画を審査することにより、補助金交付の可否や金額を決定する方式への移行を検討していくべきである。また、商業関係で分散している補助金をまとめて、効率的な支出を行うべきである。

38	
補助金名	西宮貿易協会補助金
担当課・グループ名	市民局 経済部 産業振興グループ
平成17年度当初予算額(千円)	162
見直しの方針	21 他補助金事業との整理・統合
二次評価の総合コメント	当補助金の大部分を占める日本貿易振興機構神戸貿易情報センター分担金は、他市と同様に市が直接負担をする形に変更すべきである。また分担金以外についても、西宮商工会議所補助金に統合し、商工会議所から西宮貿易協会に支出する形をとるよう、検討すべきである。

39	
補助金名	西宮観光協会補助金
担当課・グループ名	市民局 経済部 産業振興グループ
平成17年度当初予算額(千円)	1,298
見直しの方針	31 廃止
二次評価の総合コメント	本来、当協会は、会員数の拡大によって会費収入増を図るなどして、その資金で活動を行うべきである。協会の事務の多くは、市職員が行っており、臨時職員を雇用するために補助金を支出する必要性は認められないので廃止とする。

40	
補助金名	西宮ブランド・インキュベーション事業補助金
担当課・グループ名	市民局 経済部 産業振興グループ
平成17年度当初予算額(千円)	1,800
見直しの方針	21 他補助金事業との整理・統合
二次評価の総合コメント	洋菓子園遊会・和菓子まつりなどのイベントは、西宮ブランドを作る上で貴重であり、引き続き市が支援する必要性はあると考える。しかし、それを単なるイベントで終わらせず、いかに事業者に継承していくかを考えていく必要がある。そのためには、市は、従来の補助金配分方式を見直し、自ら活性化への転換を目指している事業者に対して重点的に補助を行えるよう、企画審査型の配分方式に変えていくべきである。ただし、洋菓子園遊会については、応募者数に比して参加可能人数が極端に少なく、不公平感が生じていると考えられ、事業形態の見直しを行うべきである。また、商業関係で分散している補助金をまとめて、効率的な支出を行うべきである。

		41
補助金名	西宮労働者福祉協議会補助金	
担当課・グループ名	市民局 経済部 勤労福祉課	
平成17年度当初予算額(千円)	4,770	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	補助金の必要性は認められるが、補助対象経費(事業)については見直すべきである。特に、文化・体育費などについては、補助金の目的等に照らして見直すべきである。	

		42
補助金名	西宮市農業活性化推進対策事業補助金	
担当課・グループ名	市民局 経済部 農政課	
平成17年度当初予算額(千円)	22,262	
見直しの方針	21	他の補助金事業との整理・統合
二次評価の総合コメント	補助金の必要性は認められるが、現在の市の財政状況を鑑み、補助額の見直しを行うべきである。また、農業関係の補助金は種類が多岐にわたり、補助金の対象が共通するものも多く、将来的にはそれらを整理・統合していくことを検討すべきである。	

		43
補助金名	農業指導推進対策事業補助金	
担当課・グループ名	市民局 経済部 農政課	
平成17年度当初予算額(千円)	1,155	
見直しの方針	21	他の補助金事業との整理・統合
二次評価の総合コメント	補助金の必要性は認められるが、現在の市の財政状況を鑑み、補助額の見直しを行うべきである。また、農業関係の補助金は種類が多岐にわたり、補助金の対象が共通するものも多く、将来的にはそれらを整理・統合していくことを検討すべきである。	

		44
補助金名	鳴尾新川筋農業水利対策事業補助金	
担当課・グループ名	市民局 経済部 農政課	
平成17年度当初予算額(千円)	308	
見直しの方針	11	現状どおり継続
二次評価の総合コメント	この補助金は、農家が有していた水利権を河川改修により放棄させたことに対する補償措置として支出されているものであり、現状どおり継続することが妥当である。	



		45
補助金名	有害鳥獣捕獲事業補助金	
担当課・グループ名	市民局 経済部 農政課	
平成17年度当初予算額(千円)	360	
見直しの方針	11	現状どおり継続
二次評価の総合コメント	有害鳥獣(イノシシ等)は農作物に被害を与えるだけでなく、近年は人家にも出没するなど人に危害を加える可能性もあることから、補助金の必要性は十分に認められ、少なくとも現状どおり継続すべきである。	

		46
補助金名	西宮市都市農業推進協議会補助金	
担当課・グループ名	市民局 経済部 農政課	
平成17年度当初予算額(千円)	1,232	
見直しの方針	21	他の補助金事業との整理・統合
二次評価の総合コメント	補助金の必要性は認められるが、現在の市の財政状況を鑑み、補助額の見直しを行うべきである。また、農業関係の補助金は種類が多岐にわたり、補助金の対象が共通するものも多く、将来的にはそれらを整理・統合していくことを検討すべきである。	

		47
補助金名	西宮市農業青年研究会補助金	
担当課・グループ名	市民局 経済部 農政課	
平成17年度当初予算額(千円)	154	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	当団体の収入に占める補助金の比率が低く、運営活動がこの補助金に依存しているとは考えにくい。十分に自立できると考えられるため、補助金は廃止すべきである。	

		48
補助金名	西宮市花卉協会補助金	
担当課・グループ名	市民局 経済部 農政課	
平成17年度当初予算額(千円)	132	
見直しの方針	21	他の補助金事業との整理・統合
二次評価の総合コメント	補助金の必要性は認められるが、現在の市の財政状況を鑑み、補助額の見直しを行うべきである。また、農業関係の補助金は種類が多岐にわたり、補助金の対象が共通するものも多く、将来的にはそれらを整理・統合していくことを検討すべきである。	

		49
補助金名	農産物品評会補助金	
担当課・グループ名	市民局 経済部 農政課	
平成17年度当初予算額(千円)	770	
見直しの方針	21	他の補助金事業との整理・統合
二次評価の総合コメント	補助金の必要性は認められるが、現在の市の財政状況を鑑み、補助額の見直しを行うべきである。また、農業関係の補助金は種類が多岐にわたり、補助金の対象が共通するものも多く、将来的にはそれらを整理・統合していくことを検討すべきである。	

		50
補助金名	鳴尾北郷義民顕彰事業補助金	
担当課・グループ名	市民局 経済部 農政課	
平成17年度当初予算額(千円)	93	
見直しの方針	31	廃 止
二次評価の総合コメント	義民顕彰事業は、農業用水確保の先人の偉業を讃えるものであるが、当該顕彰祭の経費の一部を市が負担することに、多くの市民の理解を得ることは難しいと考える。経費は地元の負担のみで行うべきで、補助金は廃止すべきである。	

		51
補助金名	中村治部義民顕彰事業補助金	
担当課・グループ名	市民局 経済部 農政課	
平成17年度当初予算額(千円)	93	
見直しの方針	31	廃 止
二次評価の総合コメント	義民顕彰事業は、農業用水確保の先人の偉業を讃えるものであるが、当該顕彰祭の経費の一部を市が負担することに、多くの市民の理解を得ることは難しいと考える。経費は地元の負担のみで行うべきで、補助金は廃止すべきである。	

		52
補助金名	四良右工門義民顕彰事業補助金	
担当課・グループ名	市民局 経済部 農政課	
平成17年度当初予算額(千円)	93	
見直しの方針	31	廃 止
二次評価の総合コメント	義民顕彰事業は、農業用水確保の先人の偉業を讃えるものであるが、当該顕彰祭の経費の一部を市が負担することに、多くの市民の理解を得ることは難しいと考える。経費は地元の負担のみで行うべきで、補助金は廃止すべきである。	

		53
補助金名	数量調整円滑化推進事業指導推進事業補助金	
担当課・グループ名	市民局 経済部 農政課	
平成17年度当初予算額(千円)	317	
見直しの方針	41	完了(終了)
二次評価の総合コメント	この補助金は、県より配分された米の生産目標数量内に生産調整するため、水稻生産実施計画の作成指導及び実施確認の業務などに対するものである。補助期間は、平成16年度から18年度までの3年間と定めており、予定どおり平成18年度をもって終了すべきである。	

		54
補助金名	シルバー人材センター補助金	
担当課・グループ名	市民局 経済部 高齢者就業等担当課	
平成17年度当初予算額(千円)	24,690	
見直しの方針	11	現状どおり継続
二次評価の総合コメント	シルバー人材センターは、高齢者の雇用確保のために大きな役割を担っている。当補助金は、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づいて国庫補助金と合わせて交付されており、また、受益者負担額が制限されている等の事情も考えると、この補助金は現状どおり継続するのが妥当である。	

		55
補助金名	西宮市福祉施設研修事業費補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉総括室 福祉総務課	
平成17年度当初予算額(千円)	120	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	この補助金は、介護保険制度や支援費制度に移行する施設以外へ1団体当たり3万円を補助するものであるが、すでに3年間が経過しており廃止すべきである。	

		56
補助金名	西宮市社会福祉協議会補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉総括室 福祉総務課	
平成17年度当初予算額(千円)	50,971	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	この補助金は、社会福祉協議会の事務局経費で、実際には人件費への補助金である。社会福祉協議会は、これまで地域福祉に関する市からの委託事業をもつぱら行ってきた。介護保険対象外の非収益事業を社会福祉協議会が担当し、介護保険などの収益事業は社会福祉事業団が担当してきた。したがって、収益事業が少なく、市からの各種補助金を急激に減少させることは難しいと理解できる。しかし、今後は委託事業のみならず、収益事業も組み合わせ、自立していく道を探るべきではないか。当面、市は、社会福祉協議会が実施してきた事業の中で、民間等でできるものは見直していくなどして、徐々に補助金を削減していくべきである。	

		57
補助金名	西波止会館運営補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉総括室 福祉総務課	
平成17年度当初予算額(千円)	4,161	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	<p>社会福祉センター西波止会館は、西宮市社会福祉協議会が設置・運営する施設で、主に各種会合、研修会、講演会等に使用されている。この施設は、地域の強い要望で開設されたという経緯があるが、そうであれば、使用料減免の見直しを含めて、将来的には地域による自主運営の道を探るべきではないか。当面は補助金の抑制を検討するべきである。</p>	

		58
補助金名	西宮市社会福祉事業団補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉総括室 福祉総務課	
平成17年度当初予算額(千円)	49,424	
見直しの方針	31	廃 止
二次評価の総合コメント	<p>社会福祉事業団は、介護保険などの収益事業の強化を図ることで、自立していくことが可能であると考え。市も、自立の方針を打ち出しており、その方向でできるだけ早い時期に補助金廃止に踏み切るべきである。また、市の出資金の引き揚げ、団体名称の変更など、将来的には完全な民営化を目指すべきである。</p>	

		59
補助金名	西宮市遺族会補助金(戦没者遺族)	
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉総括室 健康福祉計画課	
平成17年度当初予算額(千円)	750	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	<p>戦没者遺族の会報の事務経費等に支出しているが、高齢遺族慰問(記念品贈呈)の意義は薄れてきていると考える。今後は、個別団体への運営補助金ではなく、市が行う慰霊事業に集約していくべきではないか。当面は、会員数の減少に応じて補助金額の見直しを進めるべきである。</p>	

		60
補助金名	西宮市傷痍軍人会補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉総括室 健康福祉計画課	
平成17年度当初予算額(千円)	162	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	<p>傷痍軍人会の会員数は、今後、減少していくと予想される。将来の活動が継続されるのかどうかを含めて、補助金のあり方を考えていくべきである。今後は、個別団体への運営補助金としてではなく、市が行う慰霊事業に集約していくべきではないか。また、傷痍軍人妻の会と共同の活動が多く、傷痍軍人会から傷痍軍人妻の会へ再補助されている実態も考えると、二つの会への補助金の統合も進めるべきである。</p>	

		61
補助金名	西宮市傷痍軍人妻の会補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉総括室 健康福祉計画課	
平成17年度当初予算額(千円)	65	
見直しの方針	21	他の補助金事業との整理・統合
二次評価の総合コメント	<p>傷痍軍人妻の会の会員数が減少していくと予想される中、傷痍軍人会との統合を含めて、会のあり方を検討すべきではないか。今後は、個別団体への運営補助金としてではなく、市が行う慰霊事業に集約していくべきではないか。また、傷痍軍人会と共同の活動が多く、傷痍軍人会から傷痍軍人妻の会へ再補助されている実態も考えると、当面、補助金についても傷痍軍人会に統合を図るべきである。</p>	

		62
補助金名	兵庫県軍恩連盟西宮市連合支部補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉総括室 健康福祉計画課	
平成17年度当初予算額(千円)	187	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	<p>今後、団体の会員数が徐々に減少していくと予想される中、この会の活動は、他の軍人、遺族関係の団体と同様に、あり方を見直す時期に来ていると考える。今後は、個別団体への運営補助金としてではなく、市が行う慰霊事業に集約していくべきではないか。</p>	

		63
補助金名	西宮市原爆被害者の会補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉総括室 健康福祉計画課	
平成17年度当初予算額(千円)	162	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	<p>団体の活動は、市主催原爆展の語り部、広島平和式典参加となっているが、補助金の使途は主に会議費となっている。戦争体験を語り継ぐ活動に公的支援の意味合いはあると思われるが、近隣他都市も参考に、同様の活動への公的支援のあり方、個別団体への運営補助金の必要性について、根本から検討していくべきではないか。</p>	

		64
補助金名	かぶとやま荘運営補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 長寿社会部 長寿福祉課	
平成17年度当初予算額(千円)	65,518	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	<p>老人福祉センターかぶとやま荘は、老人の「健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与することを目的とする施設」と位置づけられているが、その役割を根本的に考え直すべき時期にきている。また、市の厳しい財政状況を鑑みると、使用料を無料とする理由に乏しい。当面は、施設利用を有料化するなどして応分の受益者負担のルールを早急に導入すべきである。</p>	

		65
補助金名	西宮市老人専用集会室補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 長寿社会部 長寿福祉課	
平成17年度当初予算額(千円)	1,369	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	<p>老人専用集会室は、現在、15箇所設置されており、一律85,500円が補助されている。しかし、基本的には、自治会などの地域の組織・団体が、「自分たちのできることは自分たちです」という理念で自主的に運営していくべきである。当面は、利用者数で補助金額を変えるなど、配分方法の工夫によって補助金総額の削減を行うべきである。</p>	

		66
補助金名	西宮市老人クラブ連合会補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 長寿社会部 長寿福祉課	
平成17年度当初予算額(千円)	6,064	
見直しの方針	21	他の補助金事業との整理・統合
二次評価の総合コメント	<p>国・県の補助制度があることで、市は単位老人クラブとその上位組織である老人クラブ連合会の両方に補助金を支出してきた。しかし、老人クラブ連合会は、単位老人クラブからの分担金によって運営するべきであると考えられる。老人クラブ連合会への補助金については、段階的に削減し、将来的には連合会として自立していくことが望ましい。</p>	

		67
補助金名	老人クラブ活動等社会活動促進事業補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 長寿社会部 長寿福祉課	
平成17年度当初予算額(千円)	37,296	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	<p>単位老人クラブへの補助金は、国・県の補助要綱を基に積算されており、金額的に見直しの余地は少ないと思われるが、補助金が有効に活用されているかどうかの検証は必要である。単位老人クラブと老人クラブ連合会は類似の事業を実施していることもあり、両組織への補助金は単位老人クラブへの補助金に一本化し、両組織全体の活動を支援していく形に変えるべきである。</p>	

		68
補助金名	西宮市連合婦人会結婚相談所運営費補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 長寿社会部 長寿福祉課	
平成17年度当初予算額(千円)	290	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	<p>この補助金は、西宮市連合婦人会が運営する結婚相談所に対して、対象者を高齢者まで広げるという条件で開始されたが、現在、65歳以上の高齢者の利用実績がほとんどなく、当初の補助目的から乖離してきている。また、民間の結婚相談所が多数存在することもあり廃止とする。</p>	

69	
補助金名	地域福祉活動補助金
担当課・グループ名	健康福祉局 長寿社会部 長寿福祉課
平成17年度当初予算額(千円)	111,493
見直しの方針	12 補助額の見直しが必要
二次評価の総合コメント	西宮市社会福祉協議会は、これまで主として、「地域福祉の推進」に関する事業、介護保険対象外の非収益事業を担当してきた。したがって、各種の補助金を早急に削減・廃止することが難しいことは理解できる。しかしながら、今後、市は、補助対象事業の評価を行い、補助事業の優先順位を付け(取捨選択を行い)、補助金を徐々に削減できるよう、見直していくべきである。また、社会福祉協議会も、事業や活動の中身を見直しながら、少しずつ自立の方向を探っていくべきである。

70	
補助金名	地域フォーラム補助金
担当課・グループ名	健康福祉局 長寿社会部 長寿福祉課
平成17年度当初予算額(千円)	923
見直しの方針	21 他の補助金事業との整理・統合
二次評価の総合コメント	地域フォーラムは、行政(市)側から見れば市民への説明の場、市民側から見れば行政(市)の出前講座の場になっているとのことである。平成17年度からは、西宮市社会福祉協議会単独の事業になったこともあり、当面は補助額の削減で対応し、将来的には社会福祉協議会への他の補助金に整理・統合していくべきである。

71	
補助金名	ことぶき号運行補助金
担当課・グループ名	健康福祉局 長寿社会部 長寿福祉課
平成17年度当初予算額(千円)	8,293
見直しの方針	31 廃止
二次評価の総合コメント	西宮市社会福祉協議会所有のことぶき号(大型バス)は、主に老人クラブの研修活動に使われているとのことだが、内容的にはレクリエーション活動の要素が大きい。老人クラブの寄付により購入したバスではあるものの、市が運行経費を補助する理由に乏しい。したがって、次期のバス買い替え時に補助金を廃止することが妥当であると考える。高齢者のレクリエーション活動の場は多様化しており、市が積極的に関与する根拠は薄れている。当面は、受益者負担の観点から利用者に一定額の費用負担を求めることで、大幅な補助金削減を図っていくべきである。

72	
補助金名	和光会(一里山荘)補助金
担当課・グループ名	健康福祉局 長寿社会部 長寿福祉課
平成17年度当初予算額(千円)	16,921
見直しの方針	13 事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	軽費老人ホーム一里山荘の運営主体である和光会は、当該施設の運営のみに関わる団体であり、市の補助がなければ運営できない状況にある。今後は、他の施設との統合または他施設への転換も含め、検討をしていただきたい。当面は、入居者がいることから補助は継続せざるを得ないが、入居者使用料の見直しや経費の一層の節減を求めるなど、補助金の削減に努めるべきである。

		73
補助金名	福祉サービス利用援助事業補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 長寿社会部 長寿福祉課	
平成17年度当初予算額(千円)	3,635	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	この事業は、西宮市社会福祉協議会が基幹的社会福祉協議会となり、県社会福祉協議会から受託しているものであるが、事業費の大半は人件費が占めている。そのため、社会福祉協議会の他の事業との兼務等により、費用を吸収することはできないか検討していただきたい。また、事業の活動範囲である尼崎市や芦屋市からも、応分の負担を求めるべきではないか。今後、介護保険制度の見直しにより、この事業が対象に含まれた場合でも、市の補助金が小額で成り立つような枠組みを構築していくべきである。	

		74
補助金名	西宮市民生委員・児童委員活動促進事業補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 長寿社会部 長寿福祉課	
平成17年度当初予算額(千円)	78,152	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	民生委員法では、民生委員は「都道府県知事の推薦によって厚生労働大臣がこれを委嘱する」とあり、その費用は都道府県の負担とされている。本市においては、見守り業務など市が追加した業務に対する補助金を加えて支給している。民生委員・児童委員は、これまで地域福祉の推進のために一定の役割を担い、さらに民生委員法の平成12年改正では「住民の立場に立った相談・支援者」という法律上の位置付けが明記されたところである。しかしながら、今後は、地域の中で自治会やPTAなどの組織が主体となり、自分たちで自分たちの地域を守り育てていくという意識を醸成していくことも重要である。民生委員と地域の関係について見直しを行うとともに、補助金についても、その活動内容や活動量に応じた形に変更することを検討してはどうか。	

		75
補助金名	西宮市民生委員・児童委員研修等助成金	
担当課・グループ名	健康福祉局 長寿社会部 長寿福祉課	
平成17年度当初予算額(千円)	2,659	
見直しの方針	21	他の補助金事業との整理・統合
二次評価の総合コメント	この助成金の他に、民生委員・児童委員活動促進事業に対して補助金が支出されていることから、民生委員・児童委員に対する補助金は統合し、能力向上に係る研修についてもその中で実施していくべきである。	

		76
補助金名	西宮市立老人ホーム嘱託職員互助会補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 長寿社会部 老人ホーム	
平成17年度当初予算額(千円)	500	
見直しの方針	12	補助額の見直しが必要
二次評価の総合コメント	この補助金は、老人ホーム嘱託職員の互助会に対するものである。すでに福利厚生について見直しの方針が出され、当互助会においても、見直しを行っているとのことである(9月現在)。職員の福利厚生に対する補助金は、民間等の社会的動向も考慮しながら、市民から一定の理解が得られるよう見直ししていくべきである。	



77	
補助金名	西宮市身体障害者連合会補助金
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉部 障害福祉課
平成17年度当初予算額(千円)	4,233
見直しの方針	13 事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	身体障害者連合会は、ノーマライゼーションの確立を目的とした市内の肢体・視覚・聴覚言語障害者の3団体の連合会であり、補助金は、運営全般に使われている。しかし、本来、団体の自主的な活動は、団体自身の財源で実施するべきであり、今後、市は、補助対象経費を特定して、補助していくべきである。

78	
補助金名	西宮市ノーマライゼーション推進協議会補助金
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉部 障害福祉課
平成17年度当初予算額(千円)	1,291
見直しの方針	31 廃止
二次評価の総合コメント	この補助金は、1981年の国際障害者年に行った事業を経緯として始まり、「輪伊和イ広場」や「ミニコンサート」といった事業を対象に支出されている。すでに長期間経過しているが、これによって障害者への理解が本当に高まってきたのか、検証や事業評価が必要であり、事業の有効性が確認できないのであれば、廃止が妥当であると考えます。

79	
補助金名	障害者生活ホーム運営費等補助金
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉部 障害福祉課
平成17年度当初予算額(千円)	119,704
見直しの方針	11 現状どおり継続
二次評価の総合コメント	各障害種別の福祉法の体系に無い障害者生活ホームへの補助金である。障害者への生活支援は、施設からグループホームなど地域での生活をサポートする方向に変わりつつある。県と一体的に実施している事業であり、市としても支援を継続していく必要がある。また、熱意ある人のボランティア精神で運営されている面があり、結果的に市の負担はそれだけ少なくなっていると言える。今後、障害者自立支援法が施行された場合には、サービス供給のあり方が変更される可能性があるため、その際に改めて市負担について検討すべきである。

80	
補助金名	障害者小規模通所作業所運営費等補助金
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉部 障害福祉課
平成17年度当初予算額(千円)	174,216
見直しの方針	11 現状どおり継続
二次評価の総合コメント	各障害種別の福祉法の体系に無い障害者小規模通所作業所である。県と一体的に実施している事業であり、市としても支援を継続していく必要がある。ただし、この作業所がどの程度目的を達成しているのか、その検証や評価は行うべきである。また、障害者自立支援法が施行された場合には、サービス供給のあり方が変更される可能性があるため、その際に改めて市負担について検討すべきである。

81	
補助金名	社会福祉センター(総合福祉センター別館)運営補助金
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉部 障害福祉課
平成17年度当初予算額(千円)	6,650
見直しの方針	21 他補助金事業との整理・統合
二次評価の総合コメント	西宮市社会福祉協議会の所有である社会福祉センターは、身体障害者通所授産施設青葉園とともに総合福祉センター別館内に整備されている。この補助金は、社会福祉センター所管分の光熱水費など施設維持経費に使用されている。設立時の経緯はあると思うが、社会福祉協議会が総合福祉センター全体を一体で運営管理するなど、経費節減の誘引が働くような配分方法を考えるべきで、そのためには他の社会福祉協議会向け補助金との統合を検討すべきである。

82	
補助金名	西宮市肢体不自由児(者)父母の会補助金
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉部 障害福祉課
平成17年度当初予算額(千円)	277
見直しの方針	31 廃止
二次評価の総合コメント	当団体の活動は、意義があると思われるが、団体の収入に占める補助金の比率が低く、運営活動がこの補助金に依存しているとは考えにくい。十分に自立できると考えられるため、補助金は廃止すべきである。

83	
補助金名	西宮市手をつなぐ育成会補助金
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉部 障害福祉課
平成17年度当初予算額(千円)	403
見直しの方針	31 廃止
二次評価の総合コメント	当団体の活動は、意義があると思われるが、団体の収入に占める補助金の比率が低く、運営活動がこの補助金に依存しているとは考えにくい。十分に自立できると考えられるため、補助金は廃止すべきである。

84	
補助金名	西宮市難聴児親の会補助金
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉部 障害福祉課
平成17年度当初予算額(千円)	40
見直しの方針	31 廃止
二次評価の総合コメント	当団体の活動は、意義があると思われるが、団体の収入に占める補助金の比率が低く、運営活動がこの補助金に依存しているとは考えにくい。十分に自立できると考えられるため、補助金は廃止すべきである。

		85
補助金名	ひょうご子どもと家庭福祉財団子ども発達支援センター・にしのみや補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉部 障害福祉課	
平成17年度当初予算額(千円)	1,100	
見直しの方針	22	特定事業の補助への変更
二次評価の総合コメント	当団体の活動は、主に療育指導事業と激励支援事業(レクリエーション)である。市が補助金を支出することで、療育指導事業の療育相談費について、西宮市民は無料となっている(他市民は3,000円)。今後は、補助対象を療育指導事業のみとし、また西宮市民に対しても療育相談費用の一部負担を導入することで、補助金額を見直していくべきである。	

		86
補助金名	市立施設等運営費補助金(知的障害者通所更生施設いずみ園)	
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉部 障害福祉課	
平成17年度当初予算額(千円)	33,598	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	当施設は、補助団体に管理委託し、利用料金制を採用して運営しており、不足金額を補助金として支出している。しかし、今後は不足金額の補填という方式でなく、補助を受ける団体が経費節減の誘引を持ちうるような配分方式を検討していただきたい。また、指定管理者制度の趣旨を踏まえ、費用の効率化やサービスの向上を目指すべきである。さらに、支援費制度が変更される際には、改めて、市負担のあり方を検討すべきである。	

		87
補助金名	市立施設等運営費補助金(知的障害者通所授産施設武庫川すずかけ作業所)	
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉部 障害福祉課	
平成17年度当初予算額(千円)	8,987	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	当施設は、補助団体に管理委託し、利用料金制を採用して運営しており、不足金額を補助金として支出している。しかし、今後は不足金額の補填という方式でなく、補助を受ける団体が経費節減の誘引を持ちうるような配分方式を検討していただきたい。また、指定管理者制度の趣旨を踏まえ、費用の効率化やサービスの向上を目指すべきである。さらに、支援費制度が変更される際には、改めて、市負担のあり方を検討すべきである。	

		88
補助金名	市立施設等運営費補助金(芦原デイサービスセンター)	
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉部 障害福祉課	
平成17年度当初予算額(千円)	16,096	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	当施設は、補助団体に管理委託し、利用料金制を採用して運営しており、不足金額を補助金として支出している。しかし、今後は不足金額の補填という方式でなく、補助を受ける団体が経費節減の誘引を持ちうるような配分方式を検討していただきたい。また、指定管理者制度の趣旨を踏まえ、費用の効率化やサービスの向上を目指すべきである。さらに、支援費制度が変更される際には、改めて、市負担のあり方を検討すべきである。	

89	
補助金名	市立施設等運営費補助金(身体障害者福祉センター)
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉部 障害福祉課
平成17年度当初予算額(千円)	6,124
見直しの方針	13 事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	当施設は、補助団体に管理委託し、利用料金制を採用して運営しており、不足金額を補助金として支出している。しかし、今後は不足金額の補填という方式でなく、補助を受ける団体が経費節減の誘引を持ちうるような配分方式を検討していただきたい。また、指定管理者制度の趣旨を踏まえ、費用の効率化やサービスの向上を目指すべきである。さらに、支援費制度が変更される際には、改めて、市負担のあり方を検討すべきである。

90	
補助金名	市立施設等運営費補助金(身体障害者通所授産施設青葉園)
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉部 障害福祉課
平成17年度当初予算額(千円)	170,225
見直しの方針	13 事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	当施設は、設立時の経緯から西宮市社会福祉協議会所有の施設として運営しており、不足金額を補助金として支出している。しかし、今後は不足金額の補填という方式でなく、補助を受ける団体が経費節減の誘引を持ちうるような配分方式を検討していただきたい。さらに、支援費制度が変更される際には、改めて、市負担のあり方を検討すべきである。

91	
補助金名	西宮市立児童館・児童センター嘱託職員互助会補助金
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉部 子育て支援グループ
平成17年度当初予算額(千円)	749
見直しの方針	12 補助額の見直しが必要
二次評価の総合コメント	この補助金は、児童館・児童センター嘱託職員に対するものである。すでに福利厚生について見直しの方針が出され、当互助会においても、見直しを行っているとのことである(9月現在)。職員の福利厚生に対する補助金は、民間等の社会的動向も考慮しながら、市民から一定の理解が得られるよう見直していくべきである。

92	
補助金名	兵庫県摂丹地区里親会助成金
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉部 子育て支援グループ
平成17年度当初予算額(千円)	30
見直しの方針	12 補助額の見直しが必要
二次評価の総合コメント	この補助金は、兵庫県主導で、各市町がそれぞれ支出しているものである。里親の負担に対して補助金で少しでも報いることの意義は理解できるが、市町間の負担額も曖昧であり、その点についての検討を県に対して働きかけていただきたい。当面、現在、他市より多くなっている補助金額を他市に合わせて減額すべきである。

		93
補助金名	西宮市婦人共励会運営補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉部 子育て支援グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	600	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	<p>婦人共励会の主な事業内容は、若年母子研修事業、母子福祉大会研修事業、母子家庭子女野外活動(レクリエーション事業)、母子寡婦諸行事(交流会等)である。しかしながら、当団体には市内の母子家庭の2%程度しか加入していないのが実態であり、当団体に補助を継続していく理由は乏しいと考える。当面、事業の見直しを進め、将来的には補助金の廃止を検討すべきである。</p>	

		94
補助金名	段上児童館運営費補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉部 子育て支援グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	12,146	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	<p>西宮市社会福祉事業団は、独自に開設した段上児童館と市から運営委託されている塩瀬児童センターの2つの児童館を運営している。利用料は無料のため、人件費などの経費を、県補助を除き全額市が補助している。社会福祉事業団の設立とはいえ、市の施策の一貫として作られた経緯から、市が補助金を支出してきた。市の厳しい財政状況と指定管理者制度の導入を踏まえて、効率的な運用と経費の節減を図るべく、現在6つある直営の児童館、そして段上児童館と塩瀬児童センターの合計8館の運営を今後どのようにしていくのか、早急にその方針を立てるべきである。</p>	

		95
補助金名	母親クラブ活動費補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉部 子育て支援グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	900	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	<p>1つの児童館に1つの母親クラブが設立され、1クラブ当たり18万円の補助金が支出されてきた。活動内容は講演会の実施が多いが、これらの活動は本来、会員が自主的に行うべきものである。補助金自体は当面減額し、将来的には団体の自立を促し、事業内容を精査した上で補助金を支出する形に変えていくべきである。</p>	

		96
補助金名	西宮市立保育所嘱託職員研修互助会補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉部 保育所事業グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	5,226	
見直しの方針	12	補助額の見直しが必要
二次評価の総合コメント	<p>この補助金は、保育所嘱託職員の互助会に対するものである。すでに福利厚生について見直しの方針が出され、当互助会においても、見直しを行っているとのことである(9月現在)。職員の福利厚生に対する補助金は、民間等の社会的動向も考慮しながら、市民から一定の理解が得られるよう見直ししていくべきである。</p>	

97	
補助金名	民間保育所運営改善費等補助金ほか
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉部 保育所事業グループ
平成17年度当初予算額(千円)	537,883
見直しの方針	13 事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	民間保育所は、市社会保障審議会の答申にもあるように、民間の特長や利点を生かした保育所運営を行っていくよう改善していくべきである。民間保育所の円滑な経営を公的に支援する必要性は認めるが、民間保育所の給与水準に至るまで市が決めている現状は、他市でも見られない例である。また、運営改善費等補助金には、いくつかのメニューがあるが、民間保育所が補助金を効率的に使用する誘引をもてるように、配分の仕方を検討すべきである。 さらに、公立保育所が取り組みにくい事業(一時保育、延長保育)を優先的に補助するなど、市の公的支援の方針も整理しておくべきである。補助金は全体的に削減を図りながら、民間保育所の努力に報いる配分の仕方に変更していくべきである。

98	
補助金名	民間保育所付帯施設等補助金
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉部 保育所事業グループ
平成17年度当初予算額(千円)	4,860
見直しの方針	21 他の補助金事業との整理・統合
二次評価の総合コメント	この補助金は、民間保育所施設の補修修理・改善のために支出されてきたが、「民間保育所運営改善費等補助金」に統合していくべきと考える。

99	
補助金名	家庭保育所補助金
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉部 保育所事業グループ
平成17年度当初予算額(千円)	56,959
見直しの方針	21 他の補助金事業との整理・統合
二次評価の総合コメント	家庭保育所は、主に生後6か月未満の児童を対象に、認可保育所の補完施設としての役割を果たしている。運営者は、自宅等を開放してサービスを提供しており、入所児童あっせんや保育料の設定など、市が運営に一定の関与と補助を行う必要性は認められる。しかし、現在、認可保育所に対する補助の見直しが行われている状況から、家庭保育所についても、助成基準や保育料などの見直しと補助金額の抑制を進めていくことが求められる。また、今後は生後6か月未満の児童の保育については認可保育所での受入れを進めていただきたい。

100	
補助金名	家庭的保育所(保育ルーム)補助金
担当課・グループ名	健康福祉局 福祉部 保育所事業グループ
平成17年度当初予算額(千円)	19,510
見直しの方針	12 補助額の見直しが必要
二次評価の総合コメント	家庭的保育所(保育ルーム)は、応急的な入所児童対策施設(県補助事業)と位置づけられ、認可保育所の補完施設としての役割を果たしている。運営者は、自宅等を開放してサービスを提供しており、入所児童あっせんや保育料の設定など、市が運営に一定の関与と補助を行う必要性は認められる。しかし、現在、認可保育所に対する補助の見直しが行われている状況から、家庭的保育所(保育ルーム)についても、助成基準や保育料などの見直しと補助金額の抑制を進めていくことが求められる。

		101
補助金名	西宮市障害者歯科診療事業等運営費補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 保健所 保健サービス課	
平成17年度当初予算額(千円)	9,035	
見直しの方針	11	現状どおり継続
二次評価の総合コメント	この補助金は、一般の歯科診療所での治療を受けにくい障害者への支援として、市の補助の必要性はあると理解できる。今後とも西宮市歯科医師会と経費の見直しについて協議を行っていただきたい。	

		102
補助金名	健康大学講座補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 保健所 保健サービス課	
平成17年度当初予算額(千円)	270	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	健康大学講座の目的は、地域における健康づくりのリーダーを養成することである。これまでの受講者が、地域でどのような役割を担っているのかなど、事業の評価を行い、目的に対する効果を検証する必要がある。現状では、病院や保健所等も類似の講座を実施しており、相互の役割分担が明確でない。関連事業との関係を整理した上で、地域における健康づくりのリーダーの養成という政策目的が必要であると判断されるのであれば、その手段として明確に体系づけられた事業を再度用意すべきである。当該補助金については廃止を検討すべきである。	

		103
補助金名	西宮市医師会看護専門学校運営費補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 保健所 保健サービス課	
平成17年度当初予算額(千円)	33,788	
見直しの方針	12	補助額の見直しが必要
二次評価の総合コメント	「看護師等の人材確保の促進に関する法律」にもあるように、市が、看護専門学校に対して一定の関与と補助をする必要性はあると考える。しかし、この学校の卒業生が西宮市内に勤務する看護師となり、地域医療にどれだけ貢献しているのか、補助金による支援が市民に還元されているのかについては、明確になっておらず、今後、検証が必要である。補助金額は、基準単価を県補助要綱と同額としているが、現在の市の財政状況を鑑み、補助額の見直しを行うべきである。	

		104
補助金名	西宮医療連盟補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 保健所 保健サービス課	
平成17年度当初予算額(千円)	6,480	
見直しの方針	22	特定事業の補助への変更
二次評価の総合コメント	この補助金は、西宮医療連盟の会館運営費を対象として支出されているが、今後は、講演会や研修会など補助目的に沿った事業を対象とする事業補助方式に切り替えていくべきではないか。当面は、現在の市の財政状況を鑑み、一定割合の減額を実施していくべきである。	

	105	
補助金名	西宮市献血推進協議会補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 保健所 保健サービス課	
平成17年度当初予算額(千円)	3,888	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	西宮市献血推進協議会の運営経費に対しては、市がほぼ全額の補助を行い、それによって献血の推進を図っている。献血推進大会や献血功労者表彰については、必要性(廃止)の有無を含めて、経費節減の方法を検討すべきである。現状では定額補助になっているため、当協議会に対して効率的な運営を促すとともに、減額を行っていくべきである。	

	106	
補助金名	西宮市鍼灸師会補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 保健所 保健サービス課	
平成17年度当初予算額(千円)	81	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	鍼灸師会は、その活動の一貫としてボランティア活動を行ってきており、市の福祉に対する貢献は評価できる。しかし、団体の収入に占める補助金の比率が低く、運営活動がこの補助金に依存しているとは考えにくい。十分に自立できると考えられるため、補助金は廃止すべきである。	

	107	
補助金名	西宮市休日歯科診療事業等運営費補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 保健所 保健サービス課	
平成17年度当初予算額(千円)	10,018	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	歯科サービスの供給は多様化(休日診療、夜間対応など)してきており、今後、行政が必ずしも休日診療サービスの支援をしなくとも、十分な供給が行われていくものと期待される。民間診療所によるサービス内容の動向を見ながら、適宜、公的支援の役割を縮小し、将来的には廃止することを視野に入れていくべきである。	

	108	
補助金名	西宮市精神障害者小規模作業所運営費等補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 保健所 健康増進課	
平成17年度当初予算額(千円)	40,336	
見直しの方針	11	現状どおり継続
二次評価の総合コメント	精神障害者小規模作業所は、回復途上にある精神障害者が、社会参加や社会的自立を目指す場として必要であることは理解できる。しかし、国の補助制度に適合する施設に移行していくよう当該施設に働きかけるなどして、市の負担削減に努めていただきたい。また今後、障害者自立支援法が施行された場合には、精神障害者へのサービス供給のあり方が変更される可能性がある。その際に、改めて市負担のあり方を検討すべきである。	



109	
補助金名	西宮市精神障害者福祉ホーム運営費補助金
担当課・グループ名	健康福祉局 保健所 健康増進課
平成17年度当初予算額(千円)	2,004
見直しの方針	31 廃止
二次評価の総合コメント	精神障害者への生活支援は、施設から在宅やグループホームなど、地域での生活や社会参加をサポートしていく方向に変化しつつある。これまで精神障害者福祉ホーム「鎌倉荘」が果たしてきた役割は評価できるが、今後は、居宅介護サービスへの移行を進め、県および西宮市と同じ定員枠を確保している尼崎市、また事業者である有馬病院と協議を行い、現在の入居者の事情に配慮しながら、一定の時間をかけて補助金の廃止について検討すべきである。

110	
補助金名	西宮市精神障害者居宅介護等事業補助金
担当課・グループ名	健康福祉局 保健所 健康増進課
平成17年度当初予算額(千円)	8,007
見直しの方針	11 現状どおり継続
二次評価の総合コメント	居宅介護等事業(ホームヘルプサービス)は、3つある精神障害者居宅生活支援事業のうちの一つである。精神障害者への生活支援は、施設入所から家庭や地域での生活や社会参加をサポートしていく方向に変化しつつあり、在宅での自立した生活をサポートするホームヘルプサービスの必要性が高まっている。しかし、精神障害者については、身体障害者や知的障害者のように支援費制度が導入されておらず、現状ではこのような補助金に依存せざるをえない。今後、障害者自立支援法が施行された場合には、精神障害者へのサービス供給のあり方が変更される可能性がある。その際に、改めて市負担のあり方を検討すべきである。

111	
補助金名	西宮市精神障害者短期入所事業補助金
担当課・グループ名	健康福祉局 保健所 健康増進課
平成17年度当初予算額(千円)	270
見直しの方針	11 現状どおり継続
二次評価の総合コメント	短期入所事業(ショートステイ)は、3つある精神障害者居宅生活支援事業のうちの一つである。精神障害者への生活支援は、施設入所から家庭や地域での生活や社会参加をサポートしていく方向に変化しつつあり、在宅での自立した生活を促進する上で、ショートステイのような短期(7日以内)入所施設の必要性が高まっている。しかし、精神障害者については、身体障害者や知的障害者のように支援費制度が導入されておらず、現状ではこのような補助金に依存せざるをえない。また、このサービスが実際に利用されなかった場合には、市の負担も発生しないことから、制度として存続することに問題はないと判断できる。今後、障害者自立支援法が施行された場合には、精神障害者へのサービス供給のあり方が変更される可能性がある。その際に、改めて市負担のあり方を検討すべきである。

112	
補助金名	西宮市精神障害者地域生活援助事業補助金
担当課・グループ名	健康福祉局 保健所 健康増進課
平成17年度当初予算額(千円)	7,792
見直しの方針	11 現状どおり継続
二次評価の総合コメント	地域生活援助事業(グループホーム)は、3つある精神障害者居宅生活支援事業のうちの一つである。精神障害者への生活支援は、施設入所から家庭や地域での生活や社会参加をサポートしていく方向に変化しつつある。グループホームは、精神障害者の自立した生活をサポートする福祉施策として重点化の方向にあり、今後、施設としても増加していくと予想される。しかし、精神障害者については、身体障害者や知的障害者のように支援費制度が導入されておらず、現状ではこのような補助金に依存せざるをえない。今後、障害者自立支援法が施行された場合には、精神障害者へのサービス供給のあり方が変更される可能性がある。その際に、改めて市負担のあり方を検討すべきである。

		113
補助金名	西宮市立わかば園嘱託職員互助会補助金	
担当課・グループ名	健康福祉局 わかば園 管理課	
平成17年度当初予算額(千円)	312	
見直しの方針	12	補助額の見直しが必要
二次評価の総合コメント	この補助金は、わかば園嘱託職員の互助会に対するものである。すでに福利厚生について見直しの方針が出され、当互助会においても、見直しを行っているとのことである(9月現在)。職員の福利厚生に対する補助金は、民間等の社会的動向も考慮しながら、市民から一定の理解が得られるよう見直ししていくべきである。	

		114
補助金名	西宮市公衆浴場設備改善資金利子補給金	
担当課・グループ名	環境局 環境総括室 環境総務課	
平成17年度当初予算額(千円)	1,891	
見直しの方針	31	廃 止
二次評価の総合コメント	公衆浴場の入浴料金は、公衆浴場入浴料金の統制額の指定等に関する省令で統制されており、公衆浴場の経営の安定化を図るため、公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律において地方公共団体等が助成等に努めることとしている。しかし、規制緩和の流れの中で、本制度自体が必要かどうかを考える時期に来ていると考えられる。また、公衆浴場は高齢者のふれあいの場としての一面もあると思われるが、高齢者のふれあいという目的は、他所によっても達成可能である。したがって、補助金は廃止すべきである。	

		115
補助金名	西宮市浴場商業協同組合補助金	
担当課・グループ名	環境局 環境総括室 環境総務課	
平成17年度当初予算額(千円)	4,387	
見直しの方針	31	廃 止
二次評価の総合コメント	公衆浴場の入浴料金は、公衆浴場入浴料金の統制額の指定等に関する省令で統制されており、公衆浴場の経営の安定化を図るため、公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律において地方公共団体等が助成等に努めることとしている。しかし、規制緩和の流れの中で、本制度自体が必要かどうかを考える時期に来ていると考えられる。また、公衆浴場は高齢者のふれあいの場としての一面もあると思われるが、高齢者のふれあいという目的は、他所によっても達成可能である。したがって、補助金は廃止すべきである。	

		116
補助金名	畜魂祭補助金	
担当課・グループ名	環境局 環境総括室 食肉センター管理グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	100	
見直しの方針	31	廃 止
二次評価の総合コメント	と畜動物の慰霊祭を開催すること自体は理解できる。しかし、本来、西宮食肉事業協同組合が独自事業として行うべきものであり、市が補助金を支出する理由が乏しいため廃止すべきである。	

	117	
補助金名	保護地区等保存奨励金(保護樹木)	
担当課・グループ名	環境局 環境緑化部 環境都市推進グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	414	
見直しの方針	12	補助額の見直しが必要
二次評価の総合コメント	市街地の樹木の保全のために、市が文化財と同様に指定し、一定程度の補助金を支出することは必要である。しかし、現在の市の財政状況を鑑み、補助額の見直しを行うべきである。また、所有者や近隣住民による自主的な清掃活動を促すことも必要である。	

	118	
補助金名	保護地区等保存奨励金(保護地区)	
担当課・グループ名	環境局 環境緑化部 環境都市推進グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	49	
見直しの方針	12	補助額の見直しが必要
二次評価の総合コメント	市街地の樹木の保全のために、市が文化財と同様に指定し、一定程度の補助金を支出することは必要である。しかし、現在の市の財政状況を鑑み、補助額の見直しを行うべきである。	

	119	
補助金名	保護地区等保存奨励金(景観樹林保護地区)	
担当課・グループ名	環境局 環境緑化部 環境都市推進グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	436	
見直しの方針	12	補助額の見直しが必要
二次評価の総合コメント	市街地の樹木の保全のために、市が文化財と同様に指定し、一定程度の補助金を支出することは必要である。しかし、現在の市の財政状況を鑑み、補助額の見直しを行うべきである。また、所有者や近隣住民による自主的な清掃活動を促すことも必要である。	

	120	
補助金名	西宮を花と緑にする会補助金	
担当課・グループ名	環境局 環境緑化部 花と緑グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	1,732	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	当会は、みどりと青空の明るいまちづくりを目的に設立され、その意義は理解できる。現在の事業内容は主にフラワーポット入れ替えや機関紙発行など固定的なものである。これらは、会員および地域住民の主体の活動に移行していくべきであり、補助金は段階的に廃止していくべきである。	

	121	
補助金名	花と緑の生垣設置助成金	
担当課・グループ名	環境局 環境緑化部 花と緑グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	2,000	
見直しの方針	11	現状どおり継続
二次評価の総合コメント	この助成金は、生垣を設置する者等に対し、助成を行うことにより地域の緑化に貢献することを目的としている。アンケート結果によれば、この助成金が誘引となって生垣の普及が促進されていると考えられるため、現状どおり継続とする。	

	122	
補助金名	松くい虫防除事業補助金	
担当課・グループ名	環境局 環境緑化部 花と緑グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	2,150	
見直しの方針	11	現状どおり継続
二次評価の総合コメント	都市の景観や緑は、行政の施策の一つとして積極的に関与して保護していかなければならない状況にある。特に松くい虫の被害は深刻であり、また倒木の危険性もあり、補助金による事業推進が期待されるため現状どおり継続とする。	

	123	
補助金名	市場環境衛生補助金	
担当課・グループ名	環境局 環境事業部 ごみ企画グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	1,656	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	この補助金が、家庭ごみの中に事業系ごみが混入することを避ける役割を果たしていることは十分に理解できる。しかし、担当課の調査によれば、このような補助金を支出している自治体は阪神間でも少数である。他市と同様に、市民が分別を行い、市が家庭ごみを収集することにより、補助金は廃止すべきである。	

	124	
補助金名	西宮市環境衛生協議会補助金	
担当課・グループ名	環境局 環境事業部 ごみ企画グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	9,234	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	当協議会が目指す環境衛生活動や保健衛生活動の向上が必要であることは認められる。この活動の開始された当初の目的(蚊・ハエのいない衛生的で明るいまちづくり)と現在の目的(循環型社会への移行)が大きく変わる中で研修会や各種実践活動に取り組まれている。しかし、西宮市新環境計画が策定された今日、これまでの研修会等の活動や団体自体のあり方について見直していくべきである。	

		125
補助金名	西宮市バス利用促進対策事業補助金	
担当課・グループ名	都市局 都市計画部 都市計画グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	2,475	
見直しの方針	11	現状どおり継続
二次評価の総合コメント	現在の急速な高齢化を考えたとき、公共交通のバリアフリー化は喫緊の課題であるため、この補助金(ノンステップバス整備)は現状どおり継続すべきである。ただし、バス事業者が交通バリアフリー法などの理念に基づいて、企業の社会的責任として独自に取り組むことはできないか、バス事業者に対して要望すべきである。また、利用者の満足度についても調査・検証が必要である。	

		126
補助金名	西宮市路線バス停留所に係る上屋整備費補助金	
担当課・グループ名	都市局 都市計画部 都市計画グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	855	
見直しの方針	11	現状どおり継続
二次評価の総合コメント	バス停留所の上屋は利用者にとって必要であり、この補助金は現状どおり継続とした。ただし、バス事業者が社会的責任として、独自に取り組むことはできないか、バス事業者に対して自主努力を要望すべきである。また、設置された上屋に関する利用者の満足度についても調査・検証が必要である。	

		127
補助金名	まちづくり助成金	
担当課・グループ名	都市局 都市計画部 都市政策グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	2,138	
見直しの方針	11	現状どおり継続
二次評価の総合コメント	この助成金は、地区計画策定や自主的なまちづくり活動の支援を目的としている。現行の事業効果は高いと認められ、現状どおり継続とする。ただし、地区計画が策定された後にまちづくり協議会の活動が衰退するようでは、この助成金の趣旨が生かされているとは言えない。地区計画策定後の活動にも活かされるよう工夫していくべきである。	

		128
補助金名	西宮市都市防災不燃化促進事業助成金	
担当課・グループ名	都市局 都市計画部 都市政策グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	19,862	
見直しの方針	11	現状どおり継続
二次評価の総合コメント	防災上、国道2号の沿道建築物を70%不燃化するという方針は、理解できる(平成17年3月現在、64.6%達成)。この助成金を活用して、過去10年間で約12%が耐火建築物に建て替えられた。この助成金が誘引となったのかどうかの検証は必要であるが、目標達成まであと一歩に迫った段階であり、その時点まで助成金制度を継続していくことが妥当と判断する。	

	129	
補助金名	狭あい道路支障物件除去助成金	
担当課・グループ名	土木局 土木管理部 土木調査課	
平成17年度当初予算額(千円)	1,510	
見直しの方針	12	補助額の見直しが必要
二次評価の総合コメント	この補助金は、私有地を市道用地として寄付を受けたり、または無償使用することにより狭あい道路を4メートル市道に拡幅整備していくためのもので、制度の必要性は認められる。しかしながら、現在の市の財政状況を鑑み、補助額の見直しを行うべきである。	

	130	
補助金名	交通安全協会補助金	
担当課・グループ名	土木局 土木管理部 交通安全対策課	
平成17年度当初予算額(千円)	50,522	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	この補助金の主たる用途は、交通安全協会に所属している女性交通指導員の人件費である。女性交通指導員による交通安全教育、保護立ち番、街頭指導活動などの業務が必要であるとしても、身分が交通安全協会にあり、人件費を補助金として支出していることは、他市にも見られない体制である。補助金は廃止して市の直営の事業に戻すか、事業委託に変更するなどして、市の施策としての位置付けを明確にすべきではないか。また、交通安全教育、保護立ち番、街頭指導活動といった活動がどの程度、交通事故件数の減少等に寄与しているのか、検証することを試みられたい。	

	131	
補助金名	交通指導員会補助金	
担当課・グループ名	土木局 土木管理部 交通安全対策課	
平成17年度当初予算額(千円)	1,052	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	交通指導員は、全市行事や地域行事における交通整理や定日の主要交差点における交通立ち番を主な業務としているが、阪神間で西宮市にのみ存在する制度である。昭和38年に設立され、長期間経過していることもあり、補助金についてはゼロベースから検討すべきと考える。	

	132	
補助金名	西宮市消防団運営交付金	
担当課・グループ名	消防局 総務部 総務課	
平成17年度当初予算額(千円)	11,097	
見直しの方針	12	補助額の見直しが必要
二次評価の総合コメント	消防団の必要性は十分に理解できるが、現在の市の財政状況を鑑み、補助額の見直しを行うべきである。	

	133	
補助金名	西宮市消防団共助会助成金	
担当課・グループ名	消防局 総務部 総務課	
平成17年度当初予算額(千円)	1,645	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	消防団共助会への助成金は、消防団員の健康診断の血液検査および団員の退会記念品料に支出されている。このうち、健康診断に係るものは、その必要性が認められるが、団員の退会記念品料は、別途退職報償金が支給されていること、市職員においても自主財源のみで支給するよう見直されたこと等から、廃止すべきである。	

	134	
補助金名	西宮市立学校嘱託調理員研修互助会補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 教育総括室 人事グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	5,804	
見直しの方針	12	補助額の見直しが必要
二次評価の総合コメント	この補助金は、嘱託調理員の互助会に対するものである。すでに福利厚生について見直しの方針が出され、当互助会においても、見直しを行っているとのことである(9月現在)。職員の福利厚生に対する補助金は、民間等の社会的動向も考慮しながら、市民から一定の理解が得られるよう見直していくべきである。	

	135	
補助金名	養護学校嘱託職員研修互助会補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 教育総括室 人事グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	562	
見直しの方針	12	補助額の見直しが必要
二次評価の総合コメント	この補助金は、養護学校嘱託職員の互助会に対するものである。すでに福利厚生について見直しの方針が出され、当互助会においても、見直しを行っているとのことである(9月現在)。職員の福利厚生に対する補助金は、民間等の社会的動向も考慮しながら、市民から一定の理解が得られるよう見直していくべきである。	

	136	
補助金名	西宮市立小学校運営研究協議会負担金	
担当課・グループ名	教育委員会 施設部 管理グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	4,000	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	この補助金は、主として各種研究会の分担金、事故見舞品、研修会参加費等に支出されている。今後、補助金の使途を見直す中で、必要なものは学校園予算で支出し、補助金としては廃止すべきである。	

	137	
補助金名	西宮市立中学校運営研究協議会負担金	
担当課・グループ名	教育委員会 施設部 管理グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	3,500	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	この補助金は、主として各種研究会の分担金、事故見舞品、研修会参加費等に支出されている。今後、補助金の使途を見直す中で、必要なものは学校園予算で支出し、補助金としては廃止すべきである。	

	138	
補助金名	西宮市立高等学校運営研究協議会負担金	
担当課・グループ名	教育委員会 施設部 管理グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	695	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	この補助金は、主として各種研究会の分担金、事故見舞品、研修会参加費等に支出されている。今後、補助金の使途を見直す中で、必要なものは学校園予算で支出し、補助金としては廃止すべきである。	

	139	
補助金名	西宮市立幼稚園運営研究協議会負担金	
担当課・グループ名	教育委員会 施設部 管理グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	960	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	この補助金は、主として各種研究会の分担金、事故見舞品、研修会参加費等に支出されている。今後、補助金の使途を見直す中で、必要なものは学校園予算で支出し、補助金としては廃止すべきである。	

	140	
補助金名	西宮市地域婦人団体協議会活動補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 社会教育部 社会教育・文化財グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	243	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	婦人の地位向上と地域社会の発展に寄与する活動を支援するという補助の目的は理解できる。しかし、その活動のほとんどが研修会、講演会、見学会等であり、参加実態から見ると補助目的を達成しているとは考えにくい。また、今日では、女性団体も多様化しており、これまでの実績を考慮しつつも当団体のみ、これからも補助を行っていくことは適当でないと考えられる。	



	141	
補助金名	西宮市指定文化財保存整備費等補助事業補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 社会教育部 社会教育・文化財グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	196	
見直しの方針	11	現状どおり継続
二次評価の総合コメント	指定文化財は、現状では行政が積極的に保護していかなければならない状況にある。よって、この補助金は、現状どおり継続とする。	

	142	
補助金名	西宮市人権・同和教育協議会補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 社会教育部 人権教育推進グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	4,388	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	当協議会の活動内容は、研修事業が中心となっており、固定化している。今後は、市の財政状況に鑑みて補助金を抑制するとともに、その活動内容を見直していくべきである。	

	143	
補助金名	西宮市大谷記念美術館補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 社会教育部 芸術文化課	
平成17年度当初予算額(千円)	150,000	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	当美術館の存在意義は理解できるが、財務内容を見ると大幅な支出超過となっており、補助金依存の構造が極めて強くなっている。経費の削減や展覧会入場料の事業収入確保等に努めてはいるが、収支均衡は不可能であり、片や公的な支援にも限界がある。展示事業の休止等、美術館の機能縮小、さらには存廃を含めて、事業のあり方を根本から検討すべき時期にきている。現状では、1つの市で1つの美術館を運営・維持していくことはかなり難しく、例えば、近隣市との共同運営や県美術館等との統合など、あらゆる手段を考えなければならない。よって、この補助金は、段階的に減額しつつ、終期を設定して廃止を検討していくべきである。	

	144	
補助金名	西宮市吹奏楽団全日本コンクール出場補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 社会教育部 芸術文化課	
平成17年度当初予算額(千円)	711	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	西宮市吹奏楽団は、西宮市が設立した団体で西宮市文化振興財団に運営委託を行っている。今後は、全日本コンクールに出場する場合の費用の一部を補助金から支出するのではなく、必要であるならば委託料に含めるなどの方法で検討し、補助金としては廃止すべきである。	

		145
補助金名	西宮市体育協会補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 社会教育部 スポーツ振興課	
平成17年度当初予算額(千円)	4,644	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	体育協会が市民体育の振興に寄与していることは認められる。しかし、自立した団体であれば、事務局経費などは、団体の収入で確保して運営していくべきである。今後、自主事業のあり方も含めて検討が必要である。	

		146
補助金名	地区体育事業補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 社会教育部 スポーツ振興課	
平成17年度当初予算額(千円)	3,240	
見直しの方針	12	補助額の見直しが必要
二次評価の総合コメント	この事業は、地区運動会を通じて地域の交わりを深め、地域力を高めることを目的としているため、今後も継続すべきと考える。しかし、現在の市の財政状況を鑑み、補助額の見直しを行うべきである。また今後は、より多くの人たちが参加できるように努める必要がある。	

		147
補助金名	西宮市各種スポーツ大会参加補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 社会教育部 スポーツ振興課	
平成17年度当初予算額(千円)	1,318	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	この補助金は、国際大会や全国大会などへの出場を祝福するとともに大会での活躍を期して激励するためのものである。しかし、大会出場の経費は、本来、自己負担でなされるものであり、補助金がないために出場できない、ということではない。したがって、補助金は廃止すべきである。	

		148
補助金名	兵庫県都市区駅伝競走大会参加補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 社会教育部 スポーツ振興課	
平成17年度当初予算額(千円)	20	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	この補助金は、兵庫県都市区駅伝競走大会の西宮市選抜代表チームの参加申込料である。しかし、このような経費は、自己負担とし、補助金としては廃止すべきである。	

		149
補助金名	西宮市スポーツ振興基金運用事業補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 社会教育部 スポーツ振興課	
平成17年度当初予算額(千円)	200	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	この補助金の財源は、スポーツ振興基金であるが、補助金額も小額で、十分な効果が現れていないと考える。今後、スポーツ振興基金の使い方に工夫を凝らし、事業の改善、検討を加えるべきであり、効果に結びつかないのであれば、補助金としては廃止すべきである。	

		150
補助金名	西宮スポーツセンター運営補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 社会教育部 スポーツ振興課	
平成17年度当初予算額(千円)	9,110	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	この補助金は、団体の赤字補填であり、原因としては、給与費や賃借料等の固定費が高いことが考えられる。近年、赤字は減少しているものの業績の伸長が見込めず、今後、管理運営している施設が指定管理者制度に移行する際には、団体として自立することが求められるので、そのために補助金は、段階的に廃止していくべきである。	

		151
補助金名	西宮市立山口中学校船坂地区生徒通学費補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 学校教育部 学校総務グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	727	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	「義務教育諸学校施設国庫負担法施行令」第3条に、適正な学校規模の条件として通学距離がおおむね6キロメートル以内と定められているが、それをもって該当する生徒全員に補助金を支出すべきとまでは言えないのではないかと、今後、終期を設定して廃止とするべきである。また、市の施策として支出するとしても、補助ではなく貸与等の制度に切り替えるなど大幅な見直しが必要である。	

		152
補助金名	西宮市船坂地区幼稚園児通園費補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 学校教育部 学校総務グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	1,470	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	この補助金は、船坂幼稚園休園の措置として始まった経緯はあるものの、休園後すでに29年を経過しており、今後、終期を設定して廃止としていくべきである。また、市の施策として支出するとしても、補助ではなく貸与等の制度に切り替えるなど大幅な見直しが必要である。	

	153	
補助金名	各種競技大会選手派遣旅費等補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 学校教育部 学校教育グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	10,207	
見直しの方針	31	廃 止
二次評価の総合コメント	学校教育における部活動の教育面での意義は理解できるが、部活動は、本人の意思により行われており、原則として受益者負担で行うもので補助金は、廃止すべきである。	

	154	
補助金名	西宮市障害児教育研究協議会補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 学校教育部 学校教育グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	7	
見直しの方針	31	廃 止
二次評価の総合コメント	この補助金は、主として障害児の作品展開催の消耗品経費に充てられており、その目的は、障害児の自立性と社会参加をするための基盤となる力の高揚、また障害児教育に対する一般社会の正しい理解と認識を深めることにある。そうした事業の必要性は認めるが、補助金で支出するのではなく、学校予算で支出するのが望ましいため廃止すべきである。	

	155	
補助金名	西宮市立小学校教科等研究会補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 学校教育部 学校教育グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	216	
見直しの方針	31	廃 止
二次評価の総合コメント	本来、このような研究会は、会員からの会費をもとに運営されるべきである。また補助金を受けた研究会がどのような効果を上げているのかについても、検証がなされていないため、この補助金は廃止すべきである。	

	156	
補助金名	西宮市立中学校教科等研究会補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 学校教育部 学校教育グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	184	
見直しの方針	31	廃 止
二次評価の総合コメント	本来、このような研究会は、会員からの会費をもとに運営されるべきである。また補助金を受けた研究会がどのような効果を上げているのかについても、検証がなされていないため、この補助金は廃止すべきである。	

		157
補助金名	進路指導推進援護会補助金(中学校)	
担当課・グループ名	教育委員会 学校教育部 学校教育グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	837	
見直しの方針	31	廃 止
二次評価の総合コメント	この補助金は、進路指導にかかる教師の旅費や情報取得のための経費に使用されている。これは本来、学校教育上必要な経費であり、進路指導推進援護会という団体に補助金として支出するような性格のものではない。より効率的な予算の執行を工夫し、近隣他都市と同様に学校予算で支出し、補助金は廃止すべきである。	

		158
補助金名	進路指導推進援護会補助金(養護学校)	
担当課・グループ名	教育委員会 学校教育部 学校教育グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	71	
見直しの方針	31	廃 止
二次評価の総合コメント	この補助金は、進路指導にかかる教師の旅費や情報取得のための経費に使用されている。これは本来、学校教育上必要な経費であり、進路指導推進援護会という団体に補助金として支出するような性格のものではない。より効率的な予算の執行を工夫し、近隣他都市と同様に学校予算で支出し、補助金は廃止すべきである。	

		159
補助金名	進路指導推進援護会補助金(高等学校)	
担当課・グループ名	教育委員会 学校教育部 学校教育グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	168	
見直しの方針	31	廃 止
二次評価の総合コメント	この補助金は、進路指導にかかる教師の旅費や情報取得のための経費に使用されている。これは本来、学校教育上必要な経費であり、進路指導推進援護会という団体に補助金として支出するような性格のものではない。より効率的な予算の執行を工夫し、近隣他都市と同様に学校予算で支出し、補助金は廃止すべきである。	

		160
補助金名	西宮くすの木会補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 学校教育部 学校教育グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	500	
見直しの方針	31	廃 止
二次評価の総合コメント	この補助金は、姉妹都市であるスポーケン市へ派遣される市立高校生生徒の旅費等に使用されている。しかし、生徒自身が国際的視野を身につけるということであれば、受益者負担が原則であると考え、市が補助金を支出する場合には、派遣された生徒が両市間の友好の架け橋になるなど、市の施策目的に対しての有効性が検証されなければならない。今日、個人や様々なレベルでホームステイが可能となっているなど、時代の変化も考えると廃止すべきである。	

	161	
補助金名	西宮市立中学校中学生米国夏期キャンプ等生活体験派遣補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 学校教育部 学校教育グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	3,704	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	この補助金は、姉妹都市であるスポーケン市へ派遣される市立中学校生徒の旅費等に使用されている。しかし、生徒自身が国際的視野を身につけるということであれば、受益者負担が原則であると考え。市が補助金を支出する場合には、派遣された生徒が両市間の友好の架け橋になるなど、市の施策目的に対しての有効性が検証されなければならない。今日、個人や様々なレベルでホームステイが可能となっているなど、時代の変化も考えると廃止すべきである。	

	162	
補助金名	西宮市立中学校中学生中国紹興市派遣補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 学校教育部 学校教育グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	2,205	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	この補助金は、友好都市である紹興市へ派遣される市立中学校生徒の旅費等に使用されている。しかし、生徒自身が国際的視野を身につけるということであれば、受益者負担が原則であると考え。市が補助金を支出する場合には、派遣された生徒が両市間の友好の架け橋になるなど、市の施策目的に対しての有効性が検証されなければならない。今日、個人や様々なレベルでホームステイが可能となっているなど、時代の変化も考えると廃止すべきである。	

	163	
補助金名	西宮市幼児教育研究会補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 学校教育部 学校教育グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	51	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	本来、このような研究会は、会員からの会費をもとに運営されるべきである。また補助金を受けた研究会がどのような効果を上げているのかについても、検証がなされていないため、この補助金は廃止すべきである。	

	164	
補助金名	西宮市学校体育連盟補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 学校教育部 学校教育グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	327	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	本来、このような団体は、会員からの会費をもとに運営されるべきである。また補助金を受けた団体がどのような効果を上げているのかについても、検証がなされていないため、この補助金は廃止すべきである。	

		165
補助金名	生徒指導短期宿泊研修補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 学校教育部 学校人権教育グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	1,224	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	事業の必要性および実施による効果も上がっていることが認められる。しかし、この事業は、受益者負担とし、補助金は一旦廃止とすべきである。市の施策として支出するとしても、補助ではなく貸与等の制度に切り替えるなど大幅な見直しが必要である。	

		166
補助金名	児童生徒健全育成補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 学校教育部 学校人権教育グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	51	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	事業目的は、生徒会リーダーの育成を通じて、生徒会活動を活性化させ、生徒の学校生活を明るく充実させることにある。それは本来、学校予算の中で行うべきことであり、補助金は廃止するべきである。	

		167
補助金名	高等学校修学旅行補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 学校教育部 学校人権教育グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	2,295	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	この補助金は、経済的な理由から授業料の減免を受けている生徒を対象に、修学旅行の費用の3分の1を公費から補助しているが、そのことの妥当性には乏しく、補助金は廃止すべきである。近年、学校教育費は親が負担するのではなく、本人が負担し、将来、社会人になってから返済すべきとの考え方も出てきている。本人に貸与する形を取れば、不参加を選択する家庭が出ることを防ぐことができると考える。貸与・返済の事務費は増えるが、実施するとしても貸与形式をとるべきである。	

		168
補助金名	西宮市学校給食会補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 学校教育部 学校保健グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	112,412	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	学校給食に関する経費の負担については、学校給食法によって設置者である地方公共団体と生徒・児童の保護者との負担区分が明確に示されている。しかし、本市の学校給食会への補助金の中には、本来、保護者の負担によるべきものが含まれており、削減の余地はある。今後、学校給食会職員の給与体系のあり方や支出項目の見直しなど、学校給食会運営全般にわたって早急に改善を行う必要がある。	

	169	
補助金名	西宮市学童等災害見舞金	
担当課・グループ名	教育委員会 学校教育部 学校保健グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	257	
見直しの方針	41	完了(終了)
二次評価の総合コメント	この給付金は、日本スポーツ振興センターから支給される給付金を補完するものであるが、平成15年度で制度は終了しており、2年間の経過措置を経たので完了とする。	

	170	
補助金名	西宮市学校保健会交付金	
担当課・グループ名	教育委員会 学校教育部 学校保健グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	1,489	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	補助金を交付した研究会がどのような効果を上げているのか、具体的な検証が必要である。今後、補助金の用途を見直す中で、必要なものは学校園予算で支出し、補助金としては廃止すべきである。	

	171	
補助金名	西宮市立学校教科等研究会補助金(養護教諭部会)	
担当課・グループ名	教育委員会 学校教育部 学校保健グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	45	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	本来、このような研究会は、会員からの会費をもとに運営されるべきである。また補助金を受けた研究会がどのような効果を上げているのかについても、検証がなされていないため、この補助金は廃止すべきである。	

	172	
補助金名	みやっこキッズわんぱく塾プロジェクト助成金	
担当課・グループ名	教育委員会 総合教育センター 子育て総合センター	
平成17年度当初予算額(千円)	300	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	この補助金は子育てサークルの育成を目的としたものであるが、補助金による子育てサークル育成への効果は明確ではなく、この補助金の有無によってグループの活動は左右されていない。また、補助金額が交付団体数により変動するなど、根拠が曖昧である。子育て支援のための施策は、保育所や幼稚園などでも実施されており、次世代育成支援計画の枠組みの中にあっても、体系的な事業実施が望まれる。よって、この補助金は廃止すべきである。	



	173	
補助金名	西宮市学童等災害見舞金	
担当課・グループ名	教育委員会 総合教育センター 青少年育成グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	50	
見直しの方針	41	完了(終了)
二次評価の総合コメント	この給付金は、平成15年度で制度が終了しており、2年間の経過措置を経たので完了とする。	

	174	
補助金名	青少年関係団体補助金(西宮市子ども会協議会)	
担当課・グループ名	教育委員会 総合教育センター 青少年育成グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	3,696	
見直しの方針	11	現状どおり継続
二次評価の総合コメント	補助金の目的やその活動内容などから、有効性は高いと判断されるので現状どおり継続とする。旧来の活動だけでなく、今日的な活動を多く取り入れることにより、さらに入会率や子ども会組織率を高め、学校週5日制の受け皿としての役割を果たしていただきたい。	

	175	
補助金名	青少年関係団体補助金(日本ボーイスカウト兵庫連盟西宮地区協議会)	
担当課・グループ名	教育委員会 総合教育センター 青少年育成グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	474	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	以前においては、ボーイスカウトやガールスカウトは、数少ない青少年の自主的活動団体であり、補助金を支出することには意味があった。しかし、今日では、そのような団体も多様化しており、この2団体だけに補助金を支出する妥当性に乏しい。当団体はすでに、自立した活動を行っており、また参加者から会費を徴収していることなどから、十分に自立できると考えられるため、補助金は廃止すべきである。	

	176	
補助金名	青少年関係団体補助金(ガールスカウト日本連盟兵庫県支部西宮市協議会)	
担当課・グループ名	教育委員会 総合教育センター 青少年育成グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	155	
見直しの方針	31	廃止
二次評価の総合コメント	以前においては、ボーイスカウトやガールスカウトは、数少ない青少年の自主的活動団体であり、補助金を支出することには意味があった。しかし、今日では、そのような団体も多様化しており、この2団体だけに補助金を支出する妥当性に乏しい。当団体はすでに、自立した活動を行っており、また参加者から会費を徴収していることなどから、十分に自立できると考えられるため、補助金は廃止すべきである。	

		177
補助金名	西宮市青少年愛護協議会補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 総合教育センター 青少年育成グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	122	
見直しの方針	21	他の補助金事業との整理・統合
二次評価の総合コメント	この補助金は、地区青少年愛護協議会の連合組織である西宮市青少年愛護協議会に対するものである。「青少年の健全育成」を目的とした青少年愛護協議会の活動自体の必要性は認められるが、2つの団体に支出されている目的が同一であるので、両組織への補助金は統合すべきと考える。西宮市青少年愛護協議会は講演会、定例会、研修会等を主な事業として実施しているが、その経費は、地区青少年愛護協議会が資金を拠出して運営することとし、当補助金は廃止すべきである。	

		178
補助金名	地区青少年愛護協議会補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 総合教育センター 青少年育成グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	11,700	
見直しの方針	12	補助額の見直しが必要
二次評価の総合コメント	この補助金は地区青少年愛護協議会に一律30万円の補助をするものである。しかし、補助金の額は、地区青少年愛護協議会の規模、活動内容、活動量、自主財源の確保に取り組む姿勢などに応じた形にするべきではないか。西宮市青少年愛護協議会への補助金との整理・統合も含めて、「青少年の健全育成」に対する市の補助金のあり方を総合的に見直す必要がある。	

		179
補助金名	西宮市青少年補導委員連絡協議会補助金	
担当課・グループ名	教育委員会 総合教育センター 青少年補導グループ	
平成17年度当初予算額(千円)	137	
見直しの方針	11	現状どおり継続
二次評価の総合コメント	青少年を取り巻く社会環境の変化に伴い、補導委員の活動は青少年の健全育成のために必要性が高まっている。また現状では、女性の補導委員が多いため、男性の補導委員の拡充も行きバランスの取れた構成が望まれる。よって、市は今後もこの事業への補助を継続していくべきである。また、「補導委員」という名称は「非行」に対する補導を連想させることから、今日的な名称への変更も検討されたい。	

		180
補助金名	政務調査費	
担当課・グループ名	議会事務局 庶務課	
平成17年度当初予算額(千円)	81,000	
見直しの方針	13	事業内容・補助の仕組み・補助額の全体の見直しが必要
二次評価の総合コメント	市議会議員の調査研究活動に対して交付される政務調査費は、その必要性については理解できるが、市民に対する説明責任の観点から支出するに際して、領収書等の提出を求めるなど、用途を明確にする方策等について検討を図るべきである。また、交付額については、各市の交付額や現在の市の財政状況を鑑み、補助額の見直しを行うべきである。	

## 5 今後の補助金制度のあり方

西宮市における補助金制度について、評価結果も踏まえて若干の提言をしたい。

### (1) 情報公開の推進

補助金については、議会へは予算審議等に際して説明されているが、市民に対して十分に情報が公開されているとは言えない。どのような補助金をどのような考え方で交付しているかについて、より具体的な情報の公開を行う必要がある。市のホームページなどを活用して情報提供に努めていただきたい。

### (2) 長期化している補助金への対応

補助金交付開始から長期間経過している補助金が多く見られた。補助の性質上、継続的に財政支援を行うことが求められているものも含めて、また事業・団体の自立を促す意味で、補助金の終期設定を行うことを基本とすべきではないか。

あわせて第三者機関を設け、終期設定した補助金を継続する場合には、再評価を行う仕組みを考えていただきたい。

### (3) 補助手法の見直し

補助金の中には、その趣旨は理解できるが、補助対象や補助金配分の仕方に検討が必要と思われるものがあつた。配分の手法をいろいろと工夫することで、政策目的に対してより有効な補助金となるよう、積極的に見直しを行っていただきたい。

### (4) 公募制の導入

公平性の観点から、要件に合致する団体が等しく補助を受けられる機会が確保される仕組みが必要ではないか。そのため、いわゆる公募制といった形が望まれる。行政の透明性の確保という面からも、公募制の導入を検討していただきたい。

### (5) 小額補助金の原則廃止

補助金事業評価の全体概要で述べたように、補助金額が小額で当該補助対象事業の規模などからみて、必ずしも必要ではないと思われる補助金もあつた。このような小額の補助金については、原則廃止にするといった思い切った判断も必要ではないか。

市における交付事務の省力化を図るとともに、補助金も政策効果の上がる場所に重点化していく視点が必要である。

### (6) 補助団体の自立促進および受益者負担の適正化

補助金が交付されると、補助団体は、補助金を前提に事業計画を立てるようになり、

それが補助団体の自立を阻害する要因の一つとなっている。そのため、受益者がいる場合には、適正な負担を求めるなど努力が必要であり、市として補助団体の自立を促進する仕組み作りを検討していただきたい。

## おわりに

補助金は、様々な団体による自主的な活動を実現させる社会的意義の高いものである。市としても、有意義かつ効果的に機能するよう常に工夫と努力が必要である。

補助金事業の対象は、その効果が広く市民全体に波及するものであるべきであり、この点を常に忘れることなく、成果の公表やその他必要な措置を不断に講じていただくよう要望したい。

補助金事業についての評価結果は以上のとおりである。以上述べてきた全体概要と個別の補助金の評価結果の見直し方向に関する意見を、それぞれ検討の上、実行に移していただきたい。あわせて、今後の補助金のあり方についても若干の提言を行ったが、これについても、今後、市において十分に検討いただき、可能なものから制度化するなど必要な措置を講じられることを期待したい。

## 西宮市補助金事業評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 西宮市が実施する補助金事業評価の客観性及び透明性の一層の向上を図るため、西宮市補助金事業評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、補助金事業評価において、第三者の視点から二次評価を行うこととする。

(組織)

第3条 委員会は、行政運営及び補助金事業について優れた識見を有する者のうちから市長が委嘱する委員6名をもって構成する。

2 委員の任期は、委嘱の日から委嘱した日の属する年度の末日までとする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選により定め、副委員長は委員の中から委員長が指名する。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

(会議)

第5条 委員会の会議(以下「会議」という。)は、委員長が召集し、委員長が議長となる。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

4 委員長は、必要があると認めるときは、関係職員に対し、出席を求め若しくは意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(小委員会)

第6条 委員会に、所掌事務を分掌するため、小委員会を置くことができる。

2 小委員会を設置する数及び小委員会に属する委員の構成については、委員長が定める。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、総合企画局行政経営改革部行財政改善グループにおいて処理する。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、委員長が定める。

付 則

1 この要綱は、平成17年7月20日から実施する。

2 この要綱の実施の日以降最初に開かれる会議は、第5条1項の規定にかかわらず、市長が召集する。

(資料2)

## 西宮市補助金事業評価委員会 委員名簿

(敬称略・五十音順)

	氏名	主な役職	専門分野	備考
1	おおかど きちとし 大門 吉俊	大門会計事務所 公認会計士		
2	おくい かつよし 奥井 克美	追手門学院大学 経済学部助教授	公共経済学、公共選択論	
3	くぼた よしお 窪田 好男	神戸学院大学 法学部助教授	行政学、公共政策学	
4	ながみね じゅんいち 長峯 純一	関西学院大学 総合政策学部教授	財政学、公共経済学、 公共選択論	委員長
5	はせがわ ひろこ 長谷川 裕子	社団法人 関西経済連合会 産業地域本部地域グループ参事	地方分権	
6	みやうち としえ 宮内 俊江	宮内法律事務所 弁護士	個人情報保護、コンプライアンス、CSR	副委員長

## 補助金事業評価委員会の活動報告

当委員会の活動を、委員会が設置されるまでの市の取組みも含めて、取りまとめたものが下記の表である。

時 期	実 施 内 容
2月～4月下旬	補助金事業評価の実施準備 * 補助金事業点検シートの作成、実施要領等の作成
4月28日	「補助金事業の点検」実施に伴う説明会
5月下旬	補助金事業点検シートの提出
6月～7月中旬	事務局（行財政改善グループ）による補助金事業点検シートの内容点検
7月25日	<b>補助金事業評価委員会の設置</b>
”	<b>第1回委員会（全体会）</b>
8月1日	A小委員会
”	B小委員会
8月5日	C小委員会
8月8日	B小委員会 担当課・グループとヒアリング
8月10日	A小委員会 担当課・グループとヒアリング
8月15日	B小委員会 担当課・グループとヒアリング
8月17日	<b>第2回委員会（全体会）</b>
”	A小委員会 担当課・グループとヒアリング
8月19日	B小委員会 担当課・グループとヒアリング
8月22日	C小委員会 担当課・グループと文書での意見交換
8月26日	A小委員会
8月30日	B小委員会
9月2日	C小委員会 担当課・グループと文書での意見交換
9月5日	A小委員会
9月8日	B小委員会
9月20日	<b>第3回委員会（全体会）</b>
* 補助金事業評価委員会（全体会）全3回開催 / 小委員会 延14回開催	

## 補助金事業評価の対象補助金一覧表

番号	補助金名	担当課・グループ名
1	私立学校園教育振興補助金	総合企画局 企画総括室 企画総務グループ
2	西宮市大学交流協議会運営費補助金	総合企画局 文化まちづくり部 文化・大学交流課
3	文化振興財団補助金	総合企画局 文化まちづくり部 文化・大学交流課
4	西宮市議会議員互助会補助金	総合企画局 市長室 秘書・国際課
5	西宮市議会議員待遇者会補助金	総合企画局 市長室 秘書・国際課
6	原水爆禁止西宮市協議会補助金	総合企画局 市長室 秘書・国際課
7	西宮市国際交流協会補助金	総合企画局 市長室 秘書・国際課
8	西宮市職員自治振興会補助金	総務局 人事部 職員厚生課
9	西宮市嘱託職員互助会補助金	総務局 人事部 職員厚生課
10	西宮納税貯蓄組合連合会補助金	総務局 税務部 税務管理グループ
11	にしのみや市民祭り補助金	市民局 市民総括室 市民活動支援課
12	防犯協会運営費補助金ほか	市民局 市民総括室 市民活動支援課
13	西宮市保護司会補助金	市民局 市民総括室 市民活動支援課
14	西宮市地域自主管理集会施設整備補助金	市民局 市民総括室 市民活動支援課
15	石けん使用推進補助金	市民局 市民総括室 消費生活センター
16	西宮市消費者団体連絡会補助金	市民局 市民総括室 消費生活センター
17	兵庫県建設国民健康保険組合補助金	市民局 市民部 国民健康保険グループ
18	西宮市福祉医療費助成制度実施協力補助金	市民局 市民部 医療助成グループ
19	西宮商工会議所補助金	市民局 経済部 商工グループ
20	西宮市商店市場連盟補助金	市民局 経済部 商工グループ
21	地場産業振興補助金	市民局 経済部 商工グループ
22	西宮市工業見本市等出品助成金	市民局 経済部 商工グループ
23	中小企業大学校受講補助金	市民局 経済部 商工グループ
24	協同組合設立補助金	市民局 経済部 商工グループ
25	西宮市地方卸売市場連合会補助金	市民局 経済部 商工グループ
26	西宮市異業種交流事業促進助成補助金	市民局 経済部 商工グループ
27	西宮市地域商業団体活性化事業補助金(商業共同施設設置事業)	市民局 経済部 商工グループ
28	西宮市地域商業団体活性化事業補助金(情報化推進事業)	市民局 経済部 商工グループ
29	西宮市地域商業団体活性化事業補助金(商業共同施設維持管理事業)	市民局 経済部 商工グループ
30	西宮市商業活性化ソフト事業補助金(商店街・市場活性化対策事業)	市民局 経済部 商工グループ
31	西宮市地域商業団体活性化事業補助金(イベント事業)	市民局 経済部 商工グループ
32	西宮市空き店舗活用活性化事業補助金	市民局 経済部 商工グループ
33	西宮市商店街等アシストエンジェルモデル事業補助金	市民局 経済部 商工グループ
34	にしのみやチラシグランプリ事業補助金	市民局 経済部 商工グループ
35	西宮市オンリーワンモデル事業補助金	市民局 経済部 商工グループ
36	中小企業団地利子補給金	市民局 経済部 商工グループ
37	酒蔵地帯復興イベント事業補助金	市民局 経済部 産業振興グループ
38	西宮貿易協会補助金	市民局 経済部 産業振興グループ
39	西宮観光協会補助金	市民局 経済部 産業振興グループ
40	西宮ブランド・インキュベーション事業補助金	市民局 経済部 産業振興グループ
41	西宮労働者福祉協議会補助金	市民局 経済部 勤労福祉課
42	西宮市農業活性化推進対策事業補助金	市民局 経済部 農政課
43	農業指導推進対策事業補助金	市民局 経済部 農政課
44	鳴尾新川筋農業水利対策事業補助金	市民局 経済部 農政課
45	有害鳥獣捕獲事業補助金	市民局 経済部 農政課
46	西宮市都市農業推進協議会補助金	市民局 経済部 農政課
47	西宮市農業青年研究会補助金	市民局 経済部 農政課
48	西宮市花卉協会補助金	市民局 経済部 農政課
49	農産物品評会補助金	市民局 経済部 農政課



## 補助金事業評価の対象補助金一覧表

番号	補助金名	担当課・グループ名
50	鳴尾北郷義民顕彰事業補助金	市民局 経済部 農政課
51	中村治部義民顕彰事業補助金	市民局 経済部 農政課
52	四良右工門義民顕彰事業補助金	市民局 経済部 農政課
53	数量調整円滑化推進事業指導推進事業補助金	市民局 経済部 農政課
54	シルバー人材センター補助金	市民局 経済部 高齢者就業等担当課
55	西宮市福祉施設研修事業費補助金	健康福祉局 福祉総括室 福祉総務課
56	西宮市社会福祉協議会補助金	健康福祉局 福祉総括室 福祉総務課
57	西波止会館運営補助金	健康福祉局 福祉総括室 福祉総務課
58	西宮市社会福祉事業団補助金	健康福祉局 福祉総括室 福祉総務課
59	西宮市遺族会補助金(戦没者遺族)	健康福祉局 福祉総括室 健康福祉計画課
60	西宮市傷痍軍人会補助金	健康福祉局 福祉総括室 健康福祉計画課
61	西宮市傷痍軍人妻の会補助金	健康福祉局 福祉総括室 健康福祉計画課
62	兵庫県軍恩連盟西宮市連合支部補助金	健康福祉局 福祉総括室 健康福祉計画課
63	西宮市原爆被害者の会補助金	健康福祉局 福祉総括室 健康福祉計画課
64	かぶとやま荘運営補助金	健康福祉局 長寿社会部 長寿福祉課
65	西宮市老人専用集会室補助金	健康福祉局 長寿社会部 長寿福祉課
66	西宮市老人クラブ連合会補助金	健康福祉局 長寿社会部 長寿福祉課
67	老人クラブ活動等社会活動促進事業補助金	健康福祉局 長寿社会部 長寿福祉課
68	西宮市連合婦人会結婚相談所運営費補助金	健康福祉局 長寿社会部 長寿福祉課
69	地域福祉活動補助金	健康福祉局 長寿社会部 長寿福祉課
70	地域フォーラム補助金	健康福祉局 長寿社会部 長寿福祉課
71	ことぶき号運行補助金	健康福祉局 長寿社会部 長寿福祉課
72	和光会(一里山荘)補助金	健康福祉局 長寿社会部 長寿福祉課
73	福祉サービス利用援助事業補助金	健康福祉局 長寿社会部 長寿福祉課
74	西宮市民生委員・児童委員活動促進事業補助金	健康福祉局 長寿社会部 長寿福祉課
75	西宮市民生委員・児童委員研修等助成金	健康福祉局 長寿社会部 長寿福祉課
76	西宮市立老人ホーム囁託職員互助会補助金	健康福祉局 長寿社会部 老人ホーム
77	西宮市身体障害者連合会補助金	健康福祉局 福祉部 障害福祉課
78	西宮市ノーマライゼーション推進協議会補助金	健康福祉局 福祉部 障害福祉課
79	障害者生活ホーム運営費等補助金	健康福祉局 福祉部 障害福祉課
80	障害者小規模通所作業所運営費等補助金	健康福祉局 福祉部 障害福祉課
81	社会福祉センター(総合福祉センター別館)運営補助金	健康福祉局 福祉部 障害福祉課
82	西宮市肢体不自由児(者)父母の会補助金	健康福祉局 福祉部 障害福祉課
83	西宮市手をつなぐ育成会補助金	健康福祉局 福祉部 障害福祉課
84	西宮市難聴児親の会補助金	健康福祉局 福祉部 障害福祉課
85	ひょうご子どもと家庭福祉財団子ども発達支援センター・にしのみや補助金	健康福祉局 福祉部 障害福祉課
86	市立施設等運営費補助金(知的障害者通所更生施設いずみ園)	健康福祉局 福祉部 障害福祉課
87	市立施設等運営費補助金(知的障害者通所授産施設武庫川すずかけ作業所)	健康福祉局 福祉部 障害福祉課
88	市立施設等運営費補助金(芦原デイサービスセンター)	健康福祉局 福祉部 障害福祉課
89	市立施設等運営費補助金(身体障害者福祉センター)	健康福祉局 福祉部 障害福祉課
90	市立施設等運営費補助金(身体障害者通所授産施設青葉園)	健康福祉局 福祉部 障害福祉課
91	西宮市立児童館・児童センター囁託職員互助会補助金	健康福祉局 福祉部 子育て支援グループ
92	兵庫県摂丹地区里親会助成金	健康福祉局 福祉部 子育て支援グループ
93	西宮市婦人共励会運営補助金	健康福祉局 福祉部 子育て支援グループ
94	段上児童館運営費補助金	健康福祉局 福祉部 子育て支援グループ
95	母親クラブ活動費補助金	健康福祉局 福祉部 子育て支援グループ
96	西宮市立保育所囁託職員研修互助会補助金	健康福祉局 福祉部 保育所事業グループ
97	民間保育所運営改善費等補助金ほか	健康福祉局 福祉部 保育所事業グループ

## 補助金事業評価の対象補助金一覧表

番号	補助金名	担当課・グループ名
98	民間保育所付帯施設等補助金	健康福祉局 福祉部 保育所事業グループ
99	家庭保育所補助金	健康福祉局 福祉部 保育所事業グループ
100	家庭的保育所(保育ルーム)補助金	健康福祉局 福祉部 保育所事業グループ
101	西宮市障害者歯科診療事業等運営費補助金	健康福祉局 保健所 保健サービス課
102	健康大学講座補助金	健康福祉局 保健所 保健サービス課
103	西宮市医師会看護専門学校運営費補助金	健康福祉局 保健所 保健サービス課
104	西宮医療連盟補助金	健康福祉局 保健所 保健サービス課
105	西宮市献血推進協議会補助金	健康福祉局 保健所 保健サービス課
106	西宮市鍼灸師会補助金	健康福祉局 保健所 保健サービス課
107	西宮市休日歯科診療事業等運営費補助金	健康福祉局 保健所 保健サービス課
108	西宮市精神障害者小規模作業所運営費等補助金	健康福祉局 保健所 健康増進課
109	西宮市精神障害者福祉ホーム運営費補助金	健康福祉局 保健所 健康増進課
110	西宮市精神障害者居宅介護等事業補助金	健康福祉局 保健所 健康増進課
111	西宮市精神障害者短期入所事業補助金	健康福祉局 保健所 健康増進課
112	西宮市精神障害者地域生活援助事業補助金	健康福祉局 保健所 健康増進課
113	西宮市わかば園嘱託職員互助会補助金	健康福祉局 わかば園 管理課
114	西宮市公衆浴場設備改善資金利子補給金	環境局 環境総括室 環境総務課
115	西宮市浴場商業協同組合補助金	環境局 環境総括室 環境総務課
116	畜魂祭補助金	環境局 環境総括室 食肉センター管理グループ
117	保護地区等保存奨励金(保護樹木)	環境局 環境緑化部 環境都市推進グループ
118	保護地区等保存奨励金(保護地区)	環境局 環境緑化部 環境都市推進グループ
119	保護地区等保存奨励金(景観樹林保護地区)	環境局 環境緑化部 環境都市推進グループ
120	西宮を花と緑にする会補助金	環境局 環境緑化部 花と緑グループ
121	花と緑の生垣設置助成金	環境局 環境緑化部 花と緑グループ
122	松くい虫防除事業補助金	環境局 環境緑化部 花と緑グループ
123	市場環境衛生補助金	環境局 環境事業部 ごみ企画グループ
124	西宮市環境衛生協議会補助金	環境局 環境事業部 ごみ企画グループ
125	西宮市バス利用促進対策事業補助金	都市局 都市計画部 都市計画グループ
126	西宮市路線バス停留所に係る上屋整備費補助金	都市局 都市計画部 都市計画グループ
127	まちづくり助成金	都市局 都市計画部 都市政策グループ
128	西宮市都市防災不燃化促進事業助成金	都市局 都市計画部 都市政策グループ
129	狭あい道路支障物件除去助成金	土木局 土木管理部 土木調査課
130	交通安全協会補助金	土木局 土木管理部 交通安全対策課
131	交通指導員会補助金	土木局 土木管理部 交通安全対策課
132	西宮市消防団運営交付金	消防局 総務部 総務課
133	西宮市消防団共助会助成金	消防局 総務部 総務課
134	西宮市立学校嘱託調理員研修互助会補助金	教育委員会 教育総括室 人事グループ
135	養護学校嘱託職員研修互助会補助金	教育委員会 教育総括室 人事グループ
136	西宮市立小学校運営研究協議会負担金	教育委員会 施設部 管理グループ
137	西宮市立中学校運営研究協議会負担金	教育委員会 施設部 管理グループ
138	西宮市立高等学校運営研究協議会負担金	教育委員会 施設部 管理グループ
139	西宮市立幼稚園運営研究協議会負担金	教育委員会 施設部 管理グループ
140	西宮市地域婦人団体協議会活動補助金	教育委員会 社会教育部 社会教育・文化財グループ
141	西宮市指定文化財保存整備費等補助事業補助金	教育委員会 社会教育部 社会教育・文化財グループ
142	西宮市人権・同和教育協議会補助金	教育委員会 社会教育部 人権教育推進グループ
143	西宮市大谷記念美術館補助金	教育委員会 社会教育部 芸術文化課
144	西宮市吹奏楽団全日本コンクール出場補助金	教育委員会 社会教育部 芸術文化課
145	西宮市体育協会補助金	教育委員会 社会教育部 スポーツ振興課
146	地区体育事業補助金	教育委員会 社会教育部 スポーツ振興課
147	西宮市各種スポーツ大会参加補助金	教育委員会 社会教育部 スポーツ振興課
148	兵庫県郡市区駅伝競走大会参加補助金	教育委員会 社会教育部 スポーツ振興課
149	西宮市スポーツ振興基金運用事業補助金	教育委員会 社会教育部 スポーツ振興課
150	西宮スポーツセンター運営補助金	教育委員会 社会教育部 スポーツ振興課
151	西宮市立山口中学校船坂地区生徒通学費補助金	教育委員会 学校教育部 学校総務グループ

## 補助金事業評価の対象補助金一覧表

番号	補助金名	担当課・グループ名
152	西宮市船坂地区幼稚園児通園費補助金	教育委員会 学校教育部 学校総務グループ
153	各種競技大会選手派遣旅費等補助金	教育委員会 学校教育部 学校教育グループ
154	西宮市障害児教育研究協議会補助金	教育委員会 学校教育部 学校教育グループ
155	西宮市立小学校教科等研究会補助金	教育委員会 学校教育部 学校教育グループ
156	西宮市立中学校教科等研究会補助金	教育委員会 学校教育部 学校教育グループ
157	進路指導推進援護会補助金(中学校)	教育委員会 学校教育部 学校教育グループ
158	進路指導推進援護会補助金(養護学校)	教育委員会 学校教育部 学校教育グループ
159	進路指導推進援護会補助金(高等学校)	教育委員会 学校教育部 学校教育グループ
160	西宮くすの木会補助金	教育委員会 学校教育部 学校教育グループ
161	西宮市立中学校中学生米国夏期キャンプ等生活体験派遣補助金	教育委員会 学校教育部 学校教育グループ
162	西宮市立中学校中学生中国紹興市派遣補助金	教育委員会 学校教育部 学校教育グループ
163	西宮市幼児教育研究会補助金	教育委員会 学校教育部 学校教育グループ
164	西宮市学校体育連盟補助金	教育委員会 学校教育部 学校教育グループ
165	生徒指導短期宿泊研修補助金	教育委員会 学校教育部 学校人権教育グループ
166	児童生徒健全育成補助金	教育委員会 学校教育部 学校人権教育グループ
167	高等学校修学旅行補助金	教育委員会 学校教育部 学校人権教育グループ
168	西宮市学校給食会補助金	教育委員会 学校教育部 学校保健グループ
169	西宮市学童等災害見舞金	教育委員会 学校教育部 学校保健グループ
170	西宮市学校保健会交付金	教育委員会 学校教育部 学校保健グループ
171	西宮市立学校教科等研究会補助金(養護教諭部会)	教育委員会 学校教育部 学校保健グループ
172	みやっこキッズわんぱく塾プロジェクト助成金	教育委員会 総合教育センター 子育て総合センター
173	西宮市学童等災害見舞金	教育委員会 総合教育センター 青少年育成グループ
174	青少年関係団体補助金(西宮市子ども会協議会)	教育委員会 総合教育センター 青少年育成グループ
175	青少年関係団体補助金(日本ボーイスカウト兵庫連盟西宮地区協議会)	教育委員会 総合教育センター 青少年育成グループ
176	青少年関係団体補助金(ガールスカウト日本連盟兵庫県支部西宮市協議会)	教育委員会 総合教育センター 青少年育成グループ
177	西宮市青少年愛護協議会補助金	教育委員会 総合教育センター 青少年育成グループ
178	地区青少年愛護協議会補助金	教育委員会 総合教育センター 青少年育成グループ
179	西宮市青少年補導委員連絡協議会補助金	教育委員会 総合教育センター 青少年補導グループ
180	政務調査費	議会事務局 庶務課